

データリンク（操作編）

目次

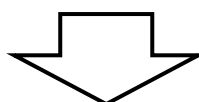
1. 機器表の入力	2
レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定	
Excelから読み込み	
2. 機器表の出力	12
レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定	
Excelに保存	
3. 衛生器具表の出力	24
レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定	
Excelに保存	
4. ダンパー発注表の出力	32
レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定	
Excelに保存	
5. 弁リストの出力	41
レブロ要素とExcelファイルの関連付けの設定	
Excelに保存	

更新日：2021/4/8 Rebro2021対応

1. 機器表の入力

Excelで作成した機器表などに記載された値を図面上に配置されたレプロの要素のプロパティに読み込みます。

記号	名称	機器仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方式 手元 遠方	遠方監視 運転 故障	非常 電源	設置 場所	備 考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向	単相	0.028		8	○			1FL 事務室	○○工業 FXABC36D
		冷房能力(kW)		3.6							
		暖房能力(kW)		4							
		ファン(kW)		0.053×1							
		風量(m ³ /min)		(急)12.5 (強)11.5 (弱)10							
		液管/ガス管(mm)		φ 6.4/ φ 12.7							
		質量(kg)		24.5							



プロパティ

パッケージエアコン(ユーザー部材)

共通

デザイン

サイズとルート

部品情報

機器番号 PAC-1

枝番号

名称 ビル用マルチ室内機

型番 36型

機器分類コード 空調機 [50-05-300-0000-000]

接続先

単線

スペース

拾い集計

接続口情報

書式付き文字列

IFC情報

幾何情報

識別情報

部品情報

カテゴリ

カスタムプロパティの追加

プロパティ

パッケージエアコン(ユーザー部材)

共通

デザイン

カスタム

データリンク更新日.. 2021/2/10 14:10:36

データリンク更新フ.. 機器表 - 機器表の入力.xlsx

サイズとルート

部品情報

機器番号 PAC-1

枝番号

名称 ビル用マルチ室内機

型番 天井カセット形 4方向

機器分類コード 空調機 [50-05-300-0000-000]

冷房能力(kW) 3.6

暖房能力(kW) 4

ファン(kW) 0.053×1

風量(m³/min) (急)12.5 (強)11.5 (弱)10

液管/ガス管(mm) φ 6.4/ φ 12.7

質量(kg) 24.5

相 単相

電圧(V) 200V

動力(kW) 0.028

メーカー型番 FXABC36D

メーカー名 ○○工業

操作方式 手元

接続先

単線

部品情報

カテゴリ

カスタムプロパティの追加

レプロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

機器表の内容を読み込む図面「図面－機器表の入力(サンプル事務所).reb」を開きます。

この図面のパッケージエアコンに機器表の内容を読み込みます。機器には機器番号が設定されています。

対象の設定

1 [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。

2 [データリンク]ダイアログが開きます。タイプの新規をクリックします。

3 [タイプの追加]ダイアログが開きます。タイプ名を入力して[OK]をクリックします。

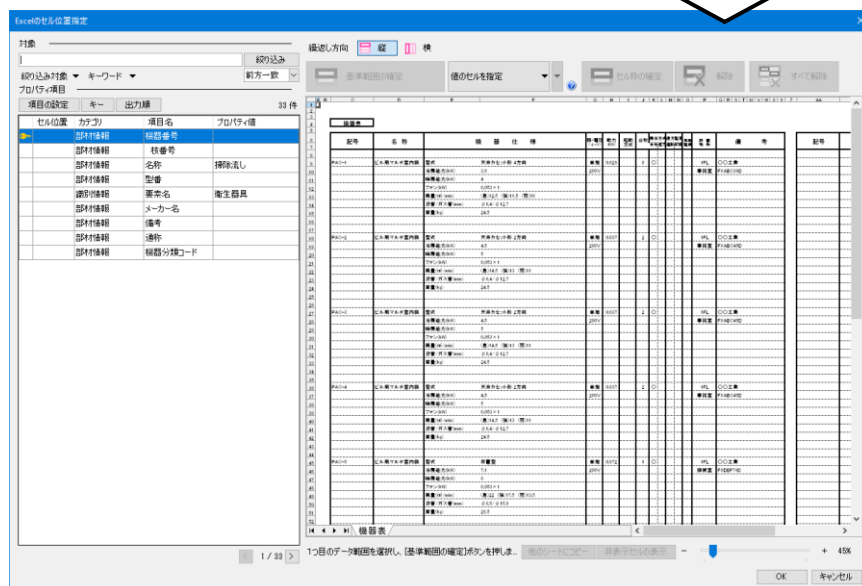
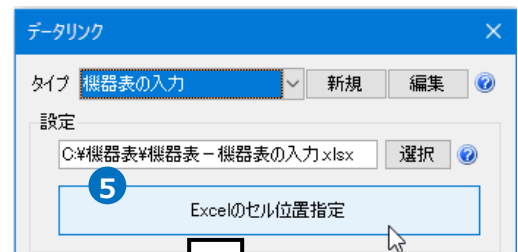
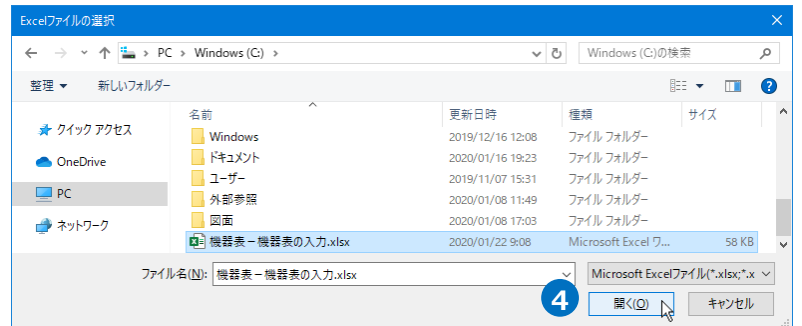
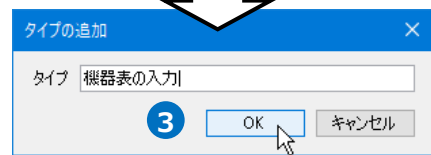
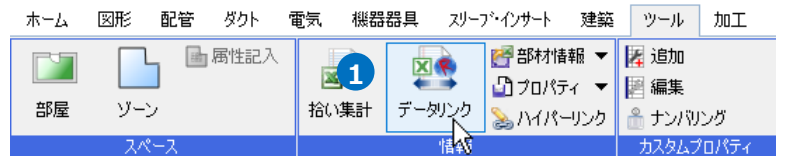
4 [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。

データを読み込むExcelファイル

「機器表－機器表の入力.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。

5 [Excelのセル位置指定]をクリックします。

[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



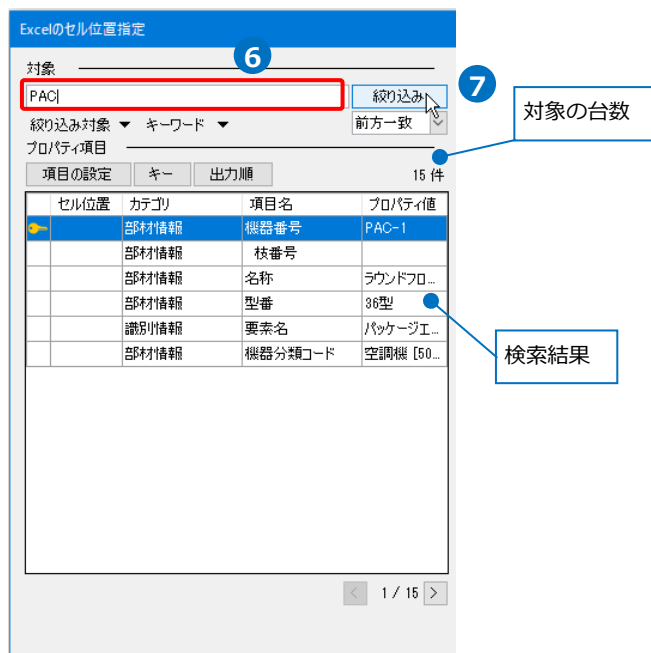
- 6 Excelから値を読み込む対象要素を絞り込みます。

[対象]の入力欄に「PAC」と入力します。

[絞り込み対象]や[キーワード]で条件を絞ることもできます。

- 7 [絞り込み]をクリックします。

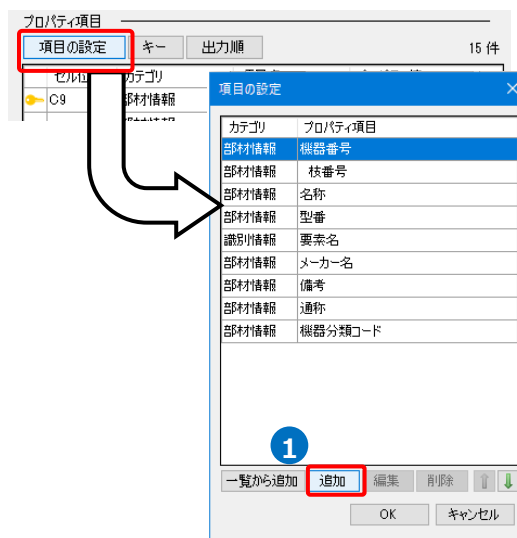
部材検索が実行され、検索キーワードと一致した部材が検索結果に表示されます。リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



項目の追加

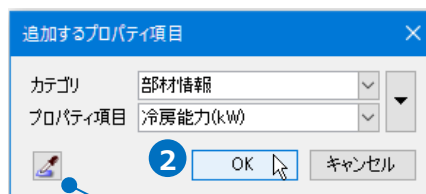
図面上に配置した機器のプロパティ項目にない項目を追加します。

- 1 [プロパティ項目]の[項目の設定]をクリックし、[項目の設定]ダイアログの[追加]をクリックします。



- 2 [追加するプロパティ項目]で[カテゴリ]、[プロパティ項目]を指定します。
[カテゴリ]：部材情報
[プロパティ項目]：冷房能力(kW)
プロパティ項目は直接入力します。

[OK]をクリックします。



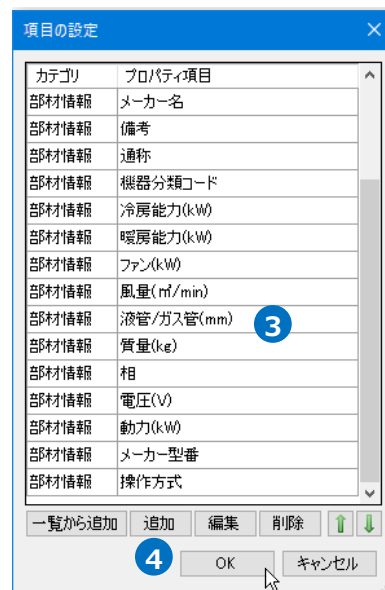
スポイトアイコンをクリックすると、Excelファイルからセルを指定して項目が取得できます。

③ [プロパティ項目]が追加されます。

同様に、[部材情報]に以下の項目を追加します。

「暖房能力(kW)」、「ファン(kW)」、「風量(m³/min)」、
「液管/ガス管(mm)」、「質量(kg)」、「相」、「電圧(V)」、
「動力(kW)」、「メーカー型番」、「操作方式」

④ [OK]をクリックします。

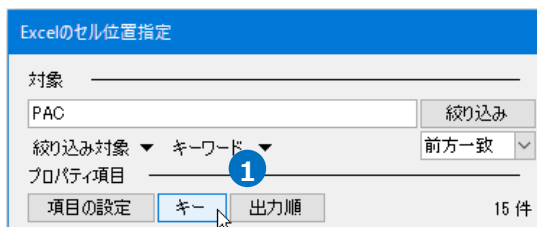


キーの設定

① [キー]をクリックし、Excelファイルの
内容とレプロの機器器具の情報を紐づけ
するプロパティ項目を選択します。

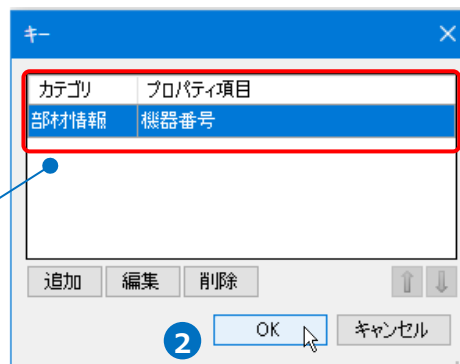
[カテゴリ]：部材情報

[プロパティ項目]：機器番号



Excelのデータと図面上の機器を紐づけするプロパティ
項目を指定

部材情報	
機器番号	PAC-1
枝番号	
名称	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン
型番	36型
機器分類コード	空調機 [50-05-300-0000-000]



② [OK]をクリックします。

選択したプロパティ項目に[🔑]のアイコンが表示されます。

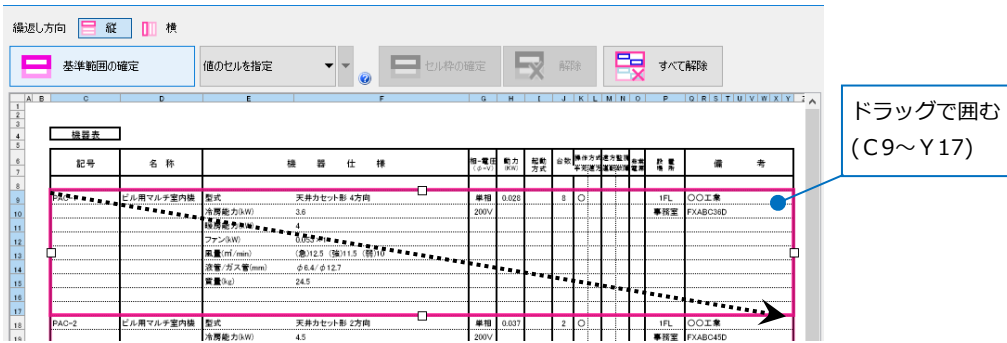
プロパティ項目

項目の設定 キー 出力順 15件

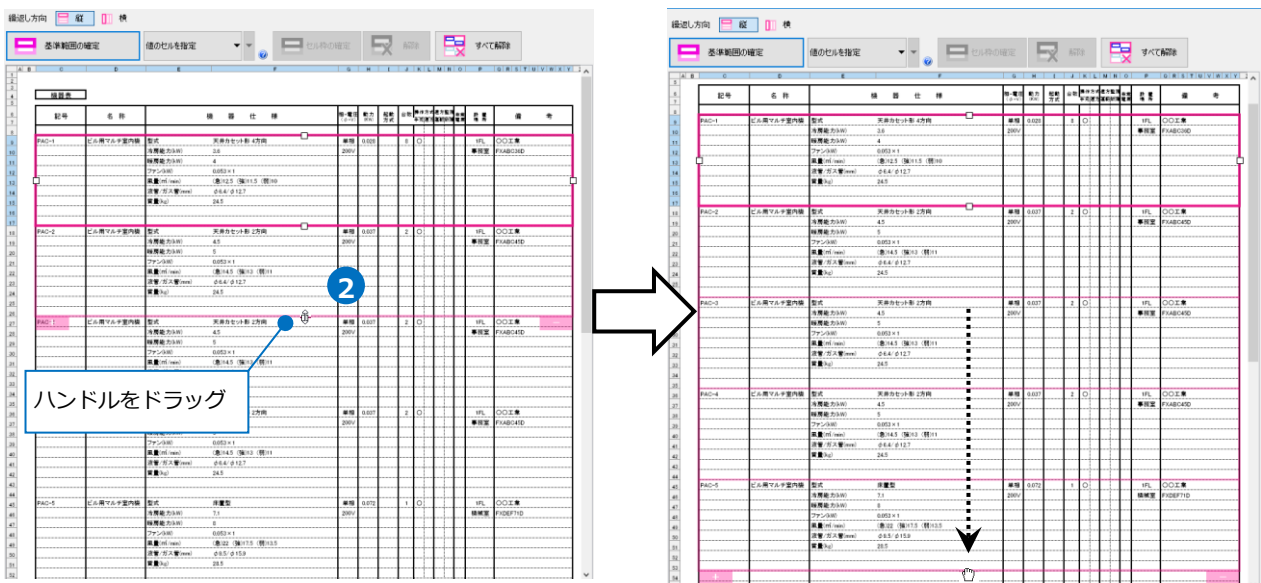
セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ値
🔑	部材情報	機器番号	PAC-1
	部材情報	枝番号	

読み込む範囲の設定

- 1 [Excelのセル位置指定]ダイアログで1つ目の要素のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。



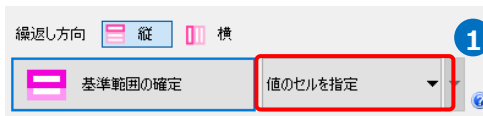
- 2 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。ここで決められた範囲内のデータが、レブロの要素に読み込む対象となります。



セルにプロパティ項目を割り当て

基準となる範囲内のセルに対し、図面上の機器のプロパティ項目を割り当てます。

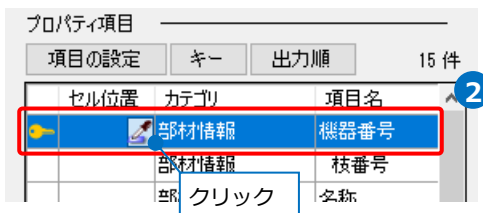
- ① 「値のセルを指定」を選択します。



- ② [プロパティ項目]でレプロの要素と関連付けるプロパティの項目を指定します。

[カテゴリ]: 部材情報

[項目名]: 機器番号



[セル位置]のセルをクリックし、スポイトアイコンをクリックします。

- ③ プロパティが記入されているセル(C9)をクリックします。

基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが水色枠で囲われます。

記号	名称	機器仕様		相電圧 (φ-V)	動力 (kW)	回転 方式	台数	操作方 字	操作方 字	操作方 字	操作方 字	操作方 字	操作方 字	操作方 字	操作方 字	備 考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向	単相	0.028	8	○									1FL 〇〇工業 FXABC36D
		冷房能力(kW)	3.6		200V											
		送風能力(kW)	4													
		送風能力(kW)	0.053 × 1													
		送風能力(l/min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10													
		送風方式(mm)	φ6.4/φ12.7													
		質量(g)	24.5													
PAC-2	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 2方向	単相	0.037	2	○									1FL 〇〇工業 FXABC45D
		冷房能力(kW)	4.5		200V											
		標準能力(kW)	5													

4 その他のセルも同様に指定します。

機器表				
記号	名称	機器仕様		
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向	4-3
4-1	4-2	冷房能力(kW)	3.6	4-4
		暖房能力(kW)	4	4-5
		ファン(kW)	0.053 × 1	4-6
		風量(m ³ /min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10	4-7
		液管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7	4-8
		質量(kg)	24.5	4-9

番号	カテゴリ	項目名
4-1	部材情報	機器番号
4-2	部材情報	名称
4-3	部材情報	型番
4-4	部材情報	冷房能力(kW)
4-5	部材情報	暖房能力(kW)
4-6	部材情報	ファン(kW)
4-7	部材情報	風量(m ³ /min)
4-8	部材情報	液管/ガス管(mm)
4-9	部材情報	質量(kg)

相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方式 手元遠方	遠方監視 運転故障	非常 電源	設 置 場 所	備 考
4-10								
单相	0.028		8	○			1FL 事務室	○工業 4-13 FXABC36D 4-14
200V	4-12							
4-11								

番号	カテゴリ	項目名
4-10	部材情報	相
4-11	部材情報	電圧(V)
4-12	部材情報	動力(kW)
4-13	部材情報	メーカー名
4-14	部材情報	メーカー型番

Memo

プロパティ項目はまとめて選択し、まとめてセル位置を指定することもできます。

プロパティ項目

項目の設定 キー 出力順 15件

セル位置	カテゴリ	項目名
	部材情報	備考
	部材情報	通称
	部材情報	機器分類コード
	部材情報	冷房能力(kW)
	部材情報	暖房能力(kW)
	部材情報	ファン(kW)
	部材情報	風量(m ³ /min)
	部材情報	液管/ガス管(m
	部材情報	質量(kg)
	部材情報	相

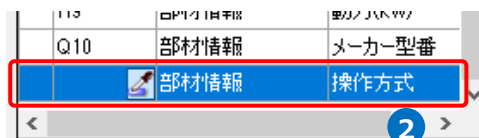
値変換

Excel上の値を変換して機器のプロパティ項目を割り当てます。

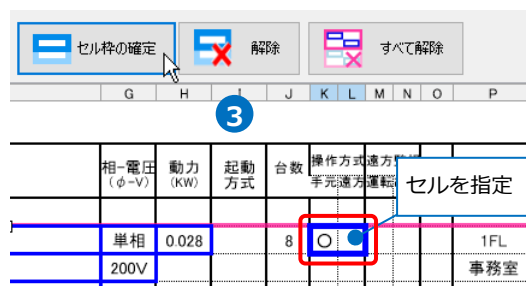
- 1 セルの指定方法は、「値のセルを指定(値変換)」を選択します。



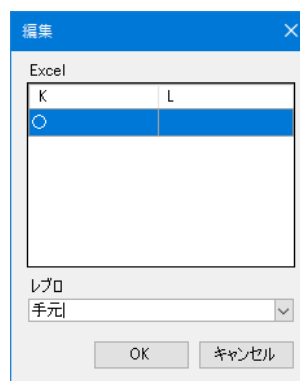
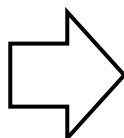
- 2 [項目名]の「操作方式」を選択します。



- 3 プロパティが記入されているセルを選択し、[セル枠の確定]をクリックします。

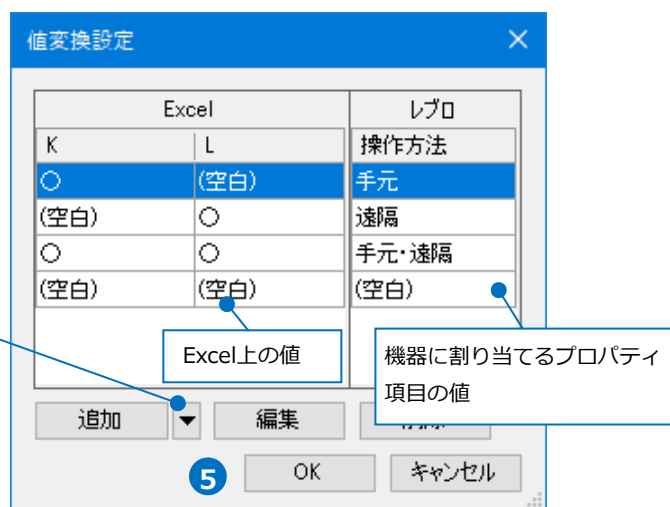
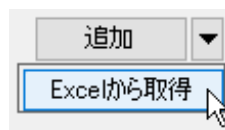


- 4 [値変換設定]ダイアログが開きます。
[編集]をクリックします。[編集]ダイアログの[レプロ]項目に変換する文字を入力します。
[OK]をクリックして設定します。

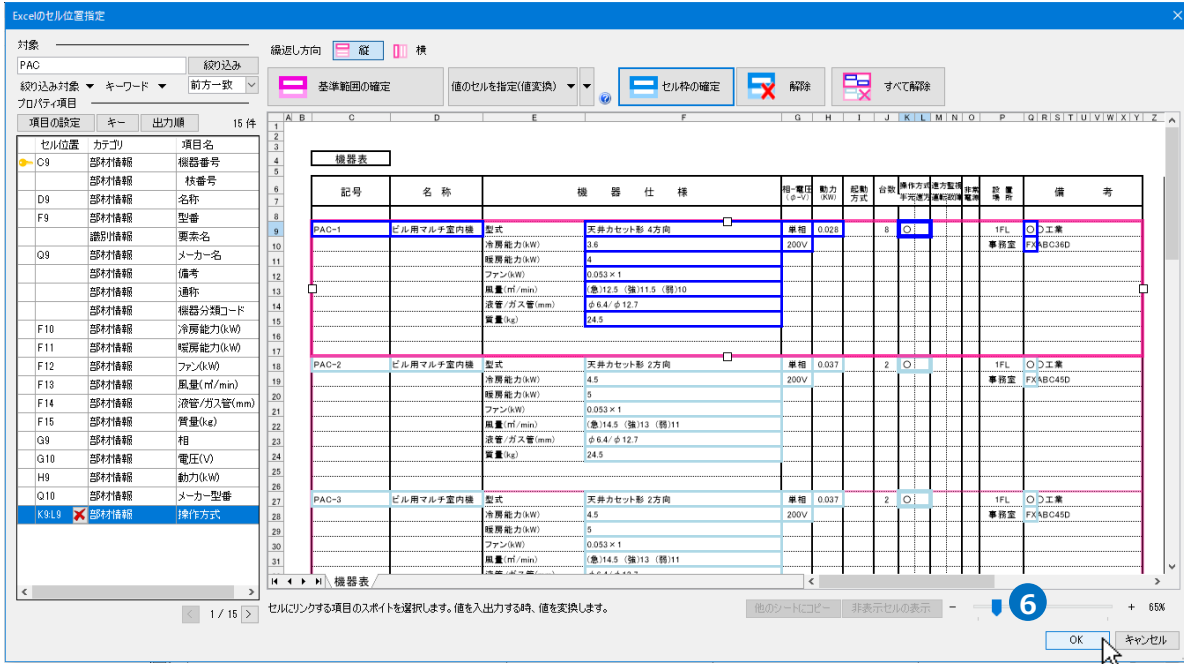


- 5 [追加]をクリックし、その他の変換方法を設定します。
設定ができれば、[OK]をクリックします。

[追加]横の[▼]を選択し、[Excelから取得]をクリックすると、Excel上のセルのデータを取得して[値変換設定]のリストに追加できます。



6 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。



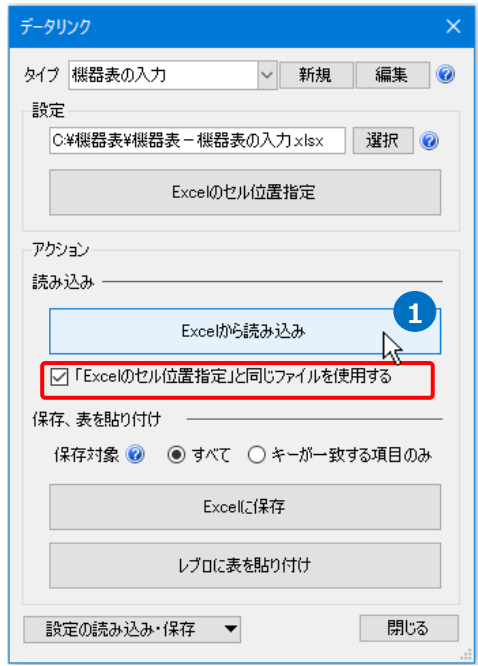
Excelから読み込み

- 1 [「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用する]にチェックを入れ、[Excelから読み込み]をクリックします。

Memo

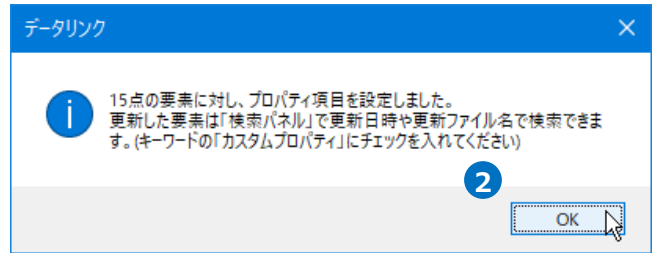
「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用する]にチェックを入れると、[Excelのセル位置指定]で指定されたファイルが[Excelから読み込み]で参照されます。

チェックを外すと、[Excelから読み込み]で参照するファイルを指定します。



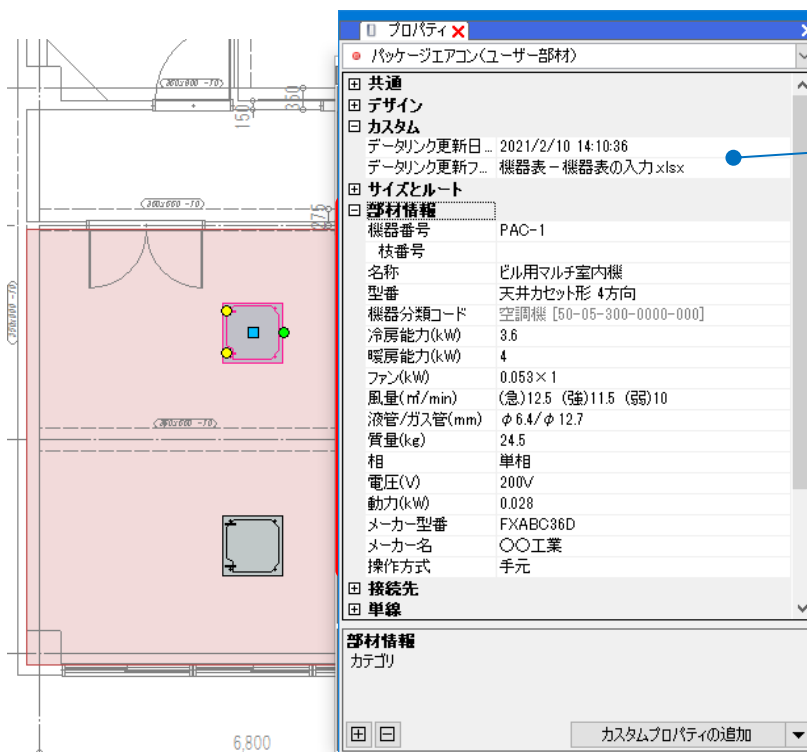
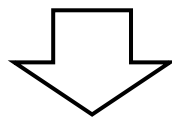
2 プロパティ項目が設定された要素の数が表示されます。

[OK]をクリックします。



3 指定した機器にプロパティ項目が設定されます。

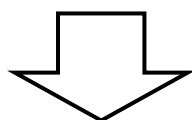
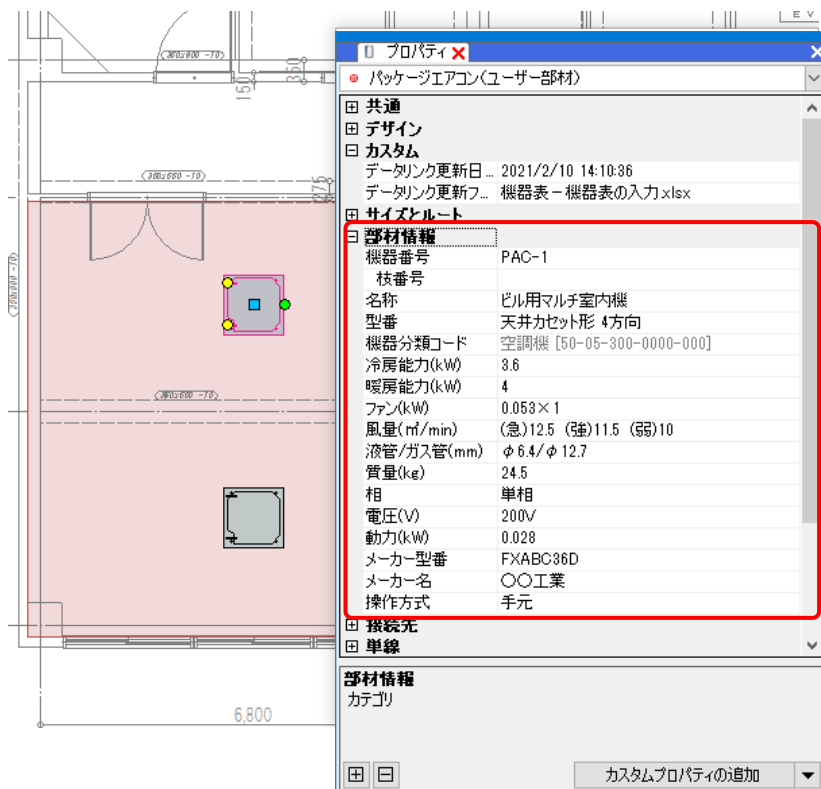
記号	名称	機器仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	回転 方式	台数	操作方式 手元操作	遠方監視 機能	制御 電圧	設置 場所	備考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向	単相	0.028		0	○			1FL	○工業
		冷房能力(kW)		200V						事務室	FXABC36D
		暖房能力(kW)									
		ファン(kW)									
		風量(m ³ /min)									
		液管/ガス管(mm)									
		質量(kg)									



データリンクでプロパティ項目を追加した要素には、[カスタムプロパティ]に[データリンク更新日]と[データリンク更新ファイル]が追加されます。

2. 機器表の出力

図面上の機器のプロパティ情報を、機器表のフォーマットが入ったExcelファイルまたはCSVファイルに出力します。



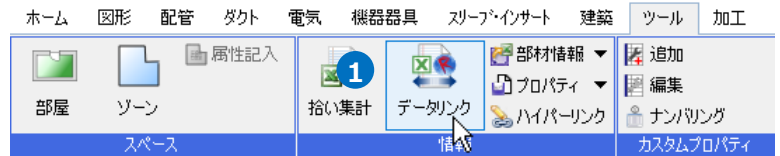
記号	名称	機器仕様		相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方式 手元 遠方	遠方監視 運転 制御	非常 電源	設置 場所	備 考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式	天井カセット形 4方向	単相	0.028		8	○			1FL 事務室	○○工業 FXABC36D
		冷房能力(kW)	3.6	200V								
		暖房能力(kW)	4									
		ファン(kW)	0.053×1									
		風量(m³/min)	(急)12.5 (強)11.5 (弱)10									
		液管/ガス管(mm)	φ6.4/φ12.7									
		質量(kg)	24.5									

レプロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

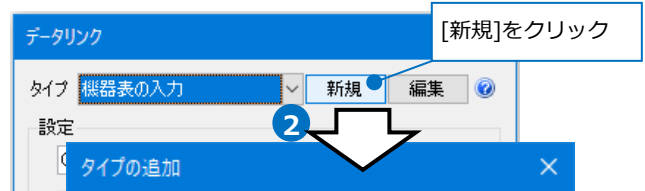
プロパティ情報を入力する図面「図面－機器表の出力(サンプル事務所).reb」を開きます。

対象の設定

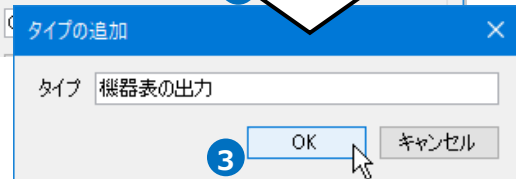
① [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。



② [データリンク]ダイアログが開きます。
[タイプ]の[新規]をクリックします。

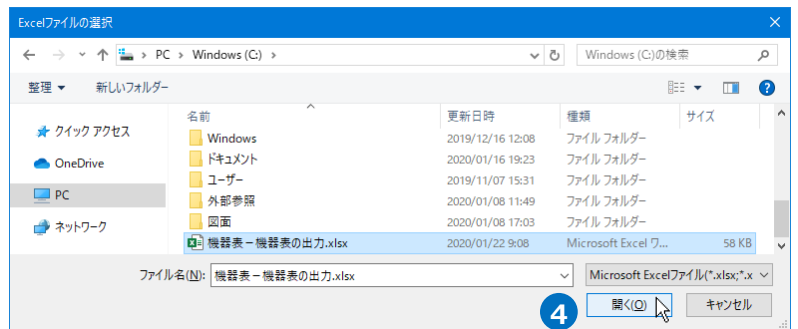


③ [タイプの追加]ダイアログが開きます。
タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。

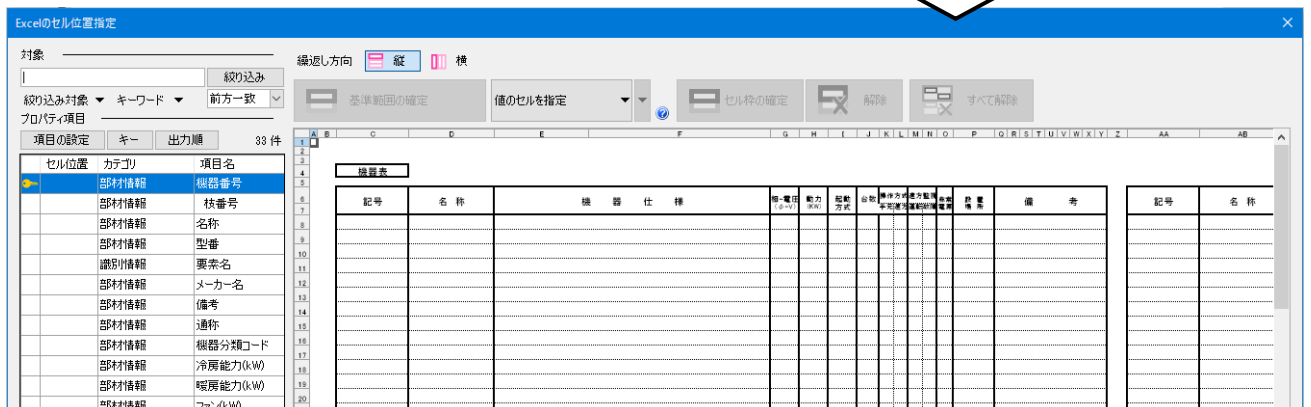
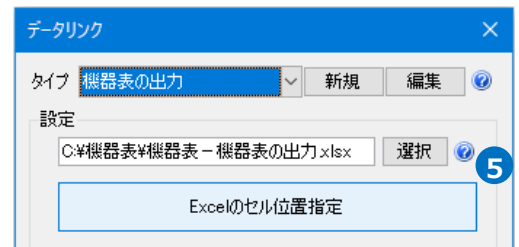


④ [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。

データを入力するExcelファイル「機器表－機器表の出力.xlsx」を選択し、
[開く]をクリックします。



⑤ [Excelのセル位置指定]をクリックします。
[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



- 6 Excelから値を読み込む対象要素を絞り込みます。
[対象]の入力欄に「PAC」と入力します。

[絞り込み対象]や[キーワード]で条件を絞ることもできます。

- 7 [絞り込み]をクリックします。

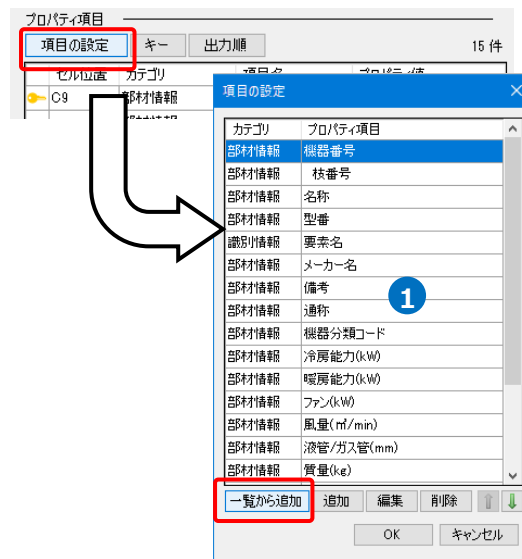
部材検索が実行され、検索キーワードと一致した部材が検索結果に表示されます。リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



項目の追加

[台数]や[基準フロア]の項目を追加し、割り当てます。

- 1 [プロパティ項目]の[項目の設定]をクリックし、[項目の設定]の[一覧から追加]をクリックします。



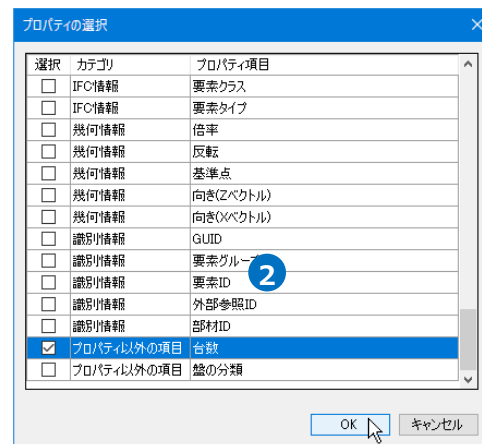
- 2 [プロパティの選択]から以下の項目を選択します。

[サイズとルート]: 基準フロア

[スペース]: 部屋

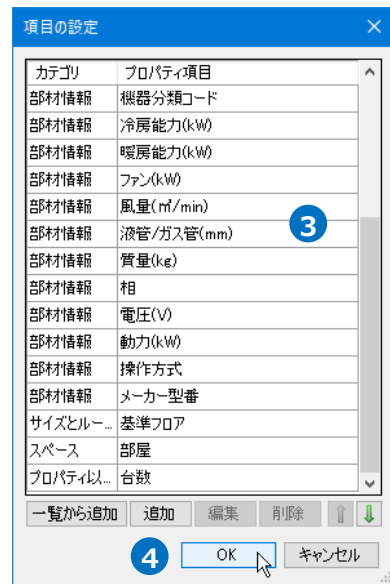
[プロパティ以外の項目]: 台数

[OK]をクリックします。



Memo
「台数」や「盤の分類」のようなプロパティにない項目は、[プロパティ以外の項目]から選択します。

3 [プロパティ項目]が追加されます。



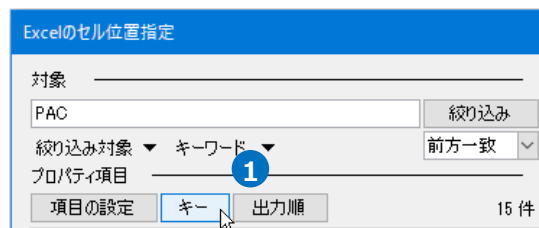
4 [OK]をクリックします。

キーの設定

1 [キー]をクリックし、Excelファイルの内容とレプロの機器器具の情報を紐づけるプロパティ項目を選択します。

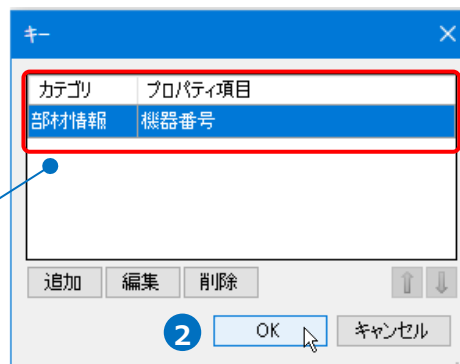
[カテゴリ]：部材情報

[プロパティ項目]：機器番号



Excelのデータと図面上の機器を紐づけるプロパティ項目を指定

部材情報	
機器番号	PAC-1
枝番号	
名称	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン
型番	36型
機器分類コード	空調機 [50-05-300-0000-000]



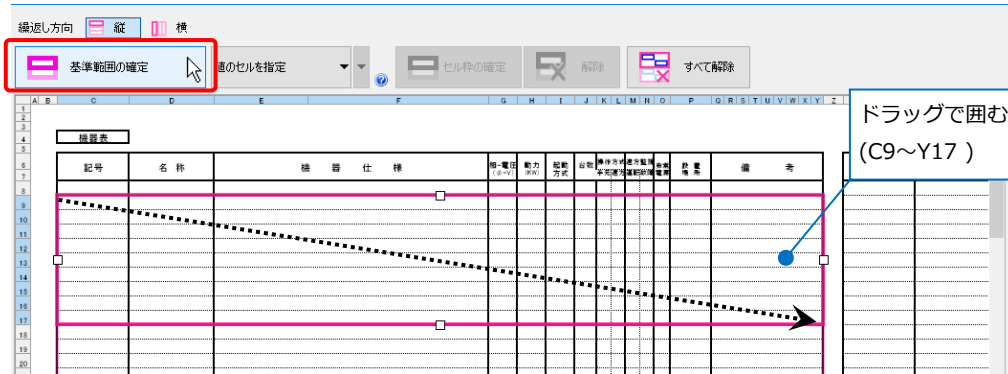
2 [OK]をクリックします。

選択したプロパティ項目に[📌]のアイコンが表示されます。

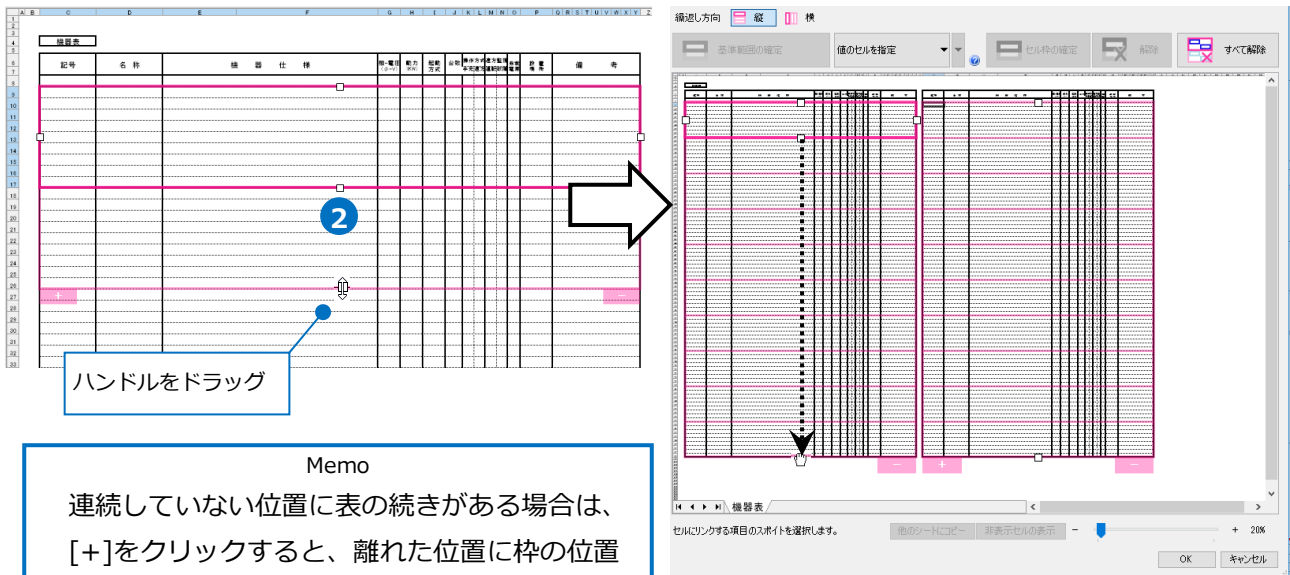
プロパティ項目			
項目の設定 15件			
セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ値
📌	部材情報	機器番号	PAC-1
	部材情報	枝番号	

読み込む範囲の設定

- 1 [Excel のセル位置指定]ダイアログで 1 つ目の要素のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。

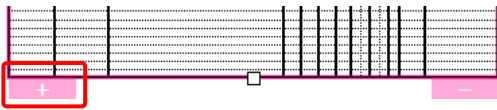


- 2 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。ここで決められた範囲内に、レブロの要素のプロパティ情報を読み込みます。



Memo

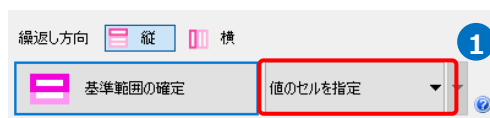
連続していない位置に表の続きがある場合は、[+]をクリックすると、離れた位置に枠の位置を指定することができます。



セルにプロパティ項目を割り当て

既存の項目を割り当て

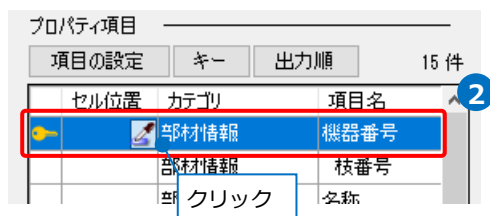
- ① 「値のセルを指定」を選択します。



- ② [プロパティ項目]でレブロの要素と関連付けるプロパティの項目を指定します。

[カテゴリ]：部材情報

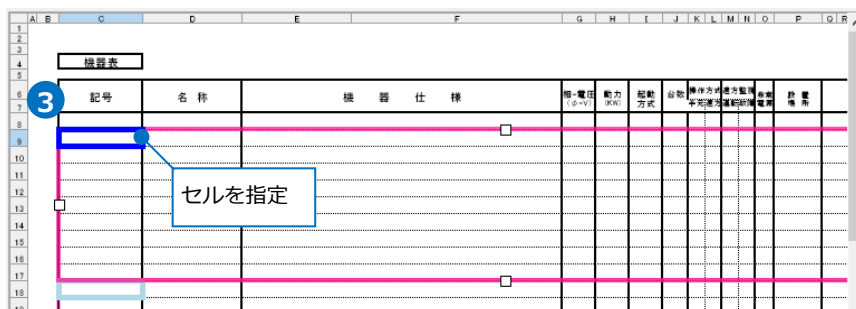
[項目名]：機器番号



[セル位置]のセルをクリックし、スポイトアイコンをクリックします。

- ③ プロパティを記入するセル(C9)をクリックします。

基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが水色枠で囲われます。



4 その他のセルも同様に指定します。

記号	名称	機器仕様	
4-1	4-2	4-3	
		4-4	
		4-5	
		4-6	
		4-7	
		4-8	
		4-9	

相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方式 手元遠方	遠方監視 運転故障	非常 電源	設 置 場 所	備 考
4-10	4-12	4-13		4-14		4-16		
4-11				4-15		4-17		

番号	カテゴリ	項目名
4-1	部材情報	機器番号
4-2	部材情報	名称
4-3	部材情報	型番
4-4	部材情報	冷房能力(kW)
4-5	部材情報	暖房能力(kW)
4-6	部材情報	ファン(kW)
4-7	部材情報	風量(m ³ /min)
4-8	部材情報	液管/ガス管(mm)
4-9	部材情報	質量(kg)

番号	カテゴリ	項目名
4-10	部材情報	相
4-11	部材情報	電圧(V)
4-12	部材情報	動力(kW)
4-13	プロパティ以外の項目	台数
4-14	サイズとルート	基準フロア
4-15	スペース	部屋
4-16	部材情報	メーカー名
4-17	部材情報	メーカー型番

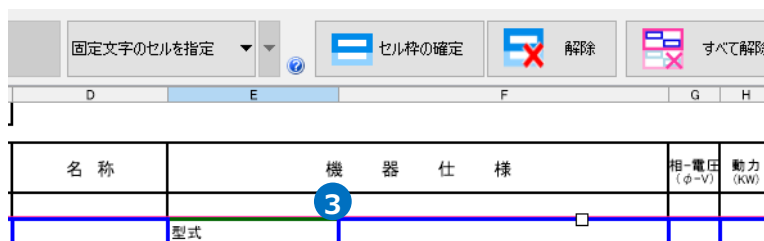
固定文字のセルを指定

- 1 項目名を直接記入する場合は、該当のセル(E9)を選択し、セルの指定方法から[固定文字のセルを指定]を選択します。



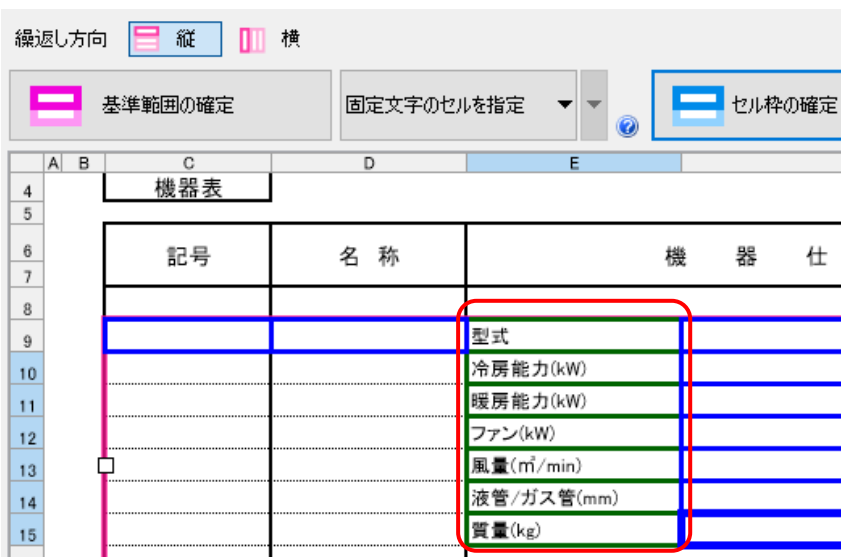
- 2 [セルの確定]をクリックします。

基準範囲内の選択したセルが緑枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが黄緑枠で囲われます。



- 3 項目名を入力します。

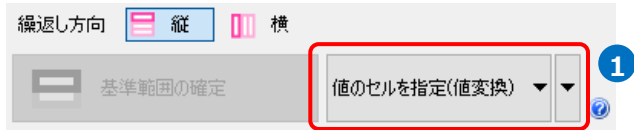
その他のセルも同様に入力します。



値変換

Excel上の値を変換して機器のプロパティ項目を割り当てます。

- 1 セルの指定方法は、「値のセルを指定(値変換)」を選択します。



- 2 [プロパティ項目]の「操作方式」を選択します。

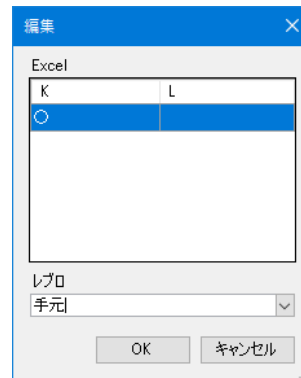
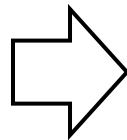
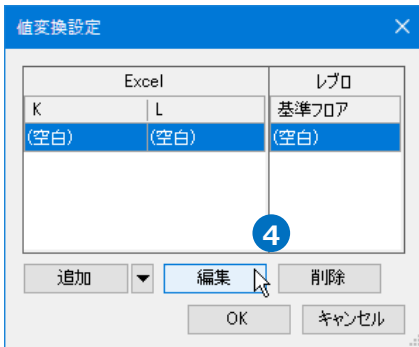


- 3 プロパティを記入するセルを選択し、[セル枠の確定]をクリックします。



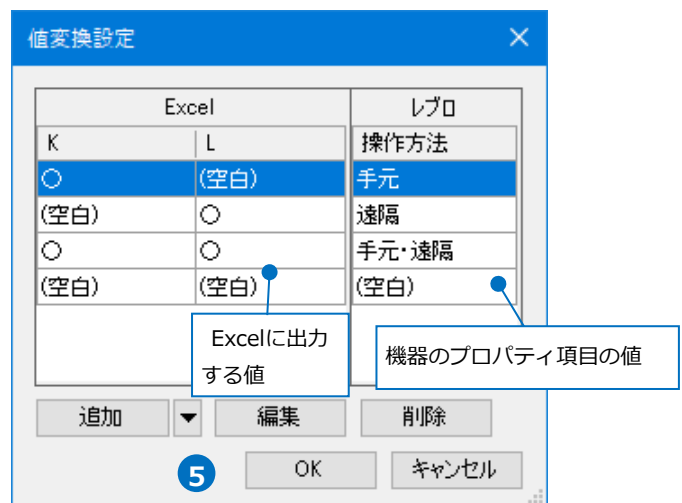
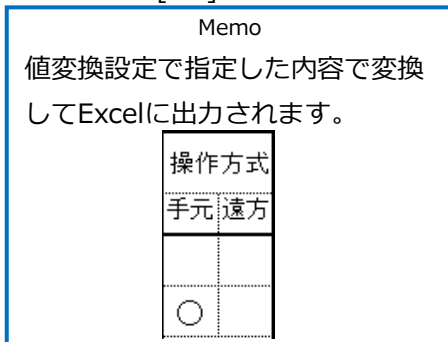
- 4 [値変換設定]ダイアログが開きます。

[編集]をクリックします。[編集]ダイアログの[レプロ]項目に変換する文字を入力します。
[OK]をクリックして設定します。



- 5 [追加]をクリックし、その他の変換方法を設定します。

設定ができれば、[OK]をクリックします。



6 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。

Excelのセル位置指定

対象 PAC 繰り込み 繰り込み対象 キーワード 前方一致 プロパティ項目

項目の設定 キー 出力順 15件

繰返し方向 縦 横

基準範囲の確定 値のセルを指定(値変換) セル枠の確定 解除 すべて解除

セル位置	カテゴリ	項目名
C9	部材情報	機器番号
	部材情報	枝番号
D9	部材情報	名称
F9	部材情報	型番
	識別情報	要素名
Q9	部材情報	メーカー名
	部材情報	備考
	部材情報	通称
	部材情報	機器分類コード
F10	部材情報	冷却能力(kW)
F11	部材情報	暖房能力(kW)
F12	部材情報	ファン(kW)
F18	部材情報	風量(m³/min)
F14	部材情報	液管/ガス管(mm)
F15	部材情報	質量(kg)
G9	部材情報	相
G10	部材情報	電圧(V)
H9	部材情報	動力(kW)
K9L9	部材情報	操作方式
Q10	部材情報	メーカー型番
P9	サイズシールド	基準フロア
P10	スペース	部屋
J9	プロパティ以外の...	台数

記号	名称	機器仕様	相電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動方式	台数	操作方式 (手元操作/リモコン)	冷却能力 (kW)	暖房能力 (kW)	ファン (kW)	風量 (m³/min)	液管/ガス管 (mm)	質量 (kg)	相	電圧 (V)	動力 (kW)	メーカー型番	基準フロア	部屋	台数	
		型式																			
		冷却能力(kW)																			
		暖房能力(kW)																			
		ファン(kW)																			
		風量(m³/min)																			
		液管/ガス管(mm)																			
		質量(kg)																			

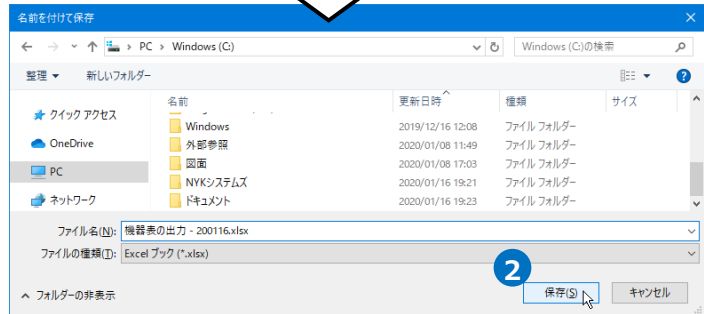
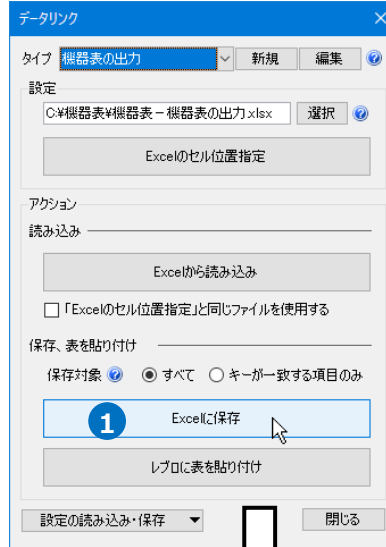
セルリンクする項目のスポットを選択します。値を入力する時、値を変換します。

他のシートコピー 非表示セルの表示 6 OK キャンセル

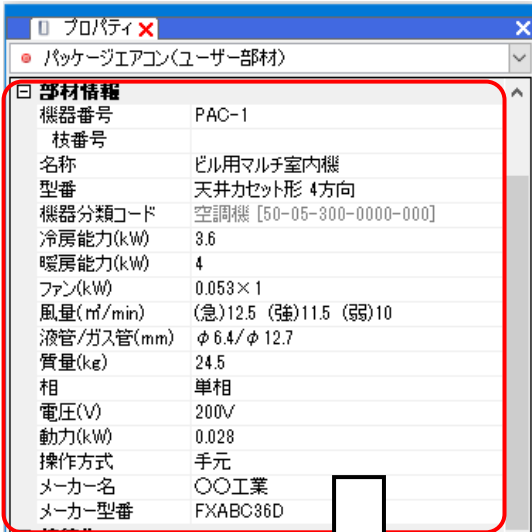
Excelに保存

1 [Excelに保存]をクリックします。

2 [名前を付けて保存]ダイアログが開きます。
保存場所を指定して、[保存]をクリックします。



3 プロパティ情報がExcelに出力されます。



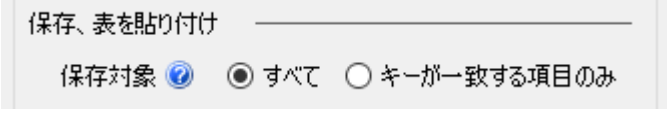
記号	名称	機器仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	起動 方式	台数	操作方式 手元/遠方	送風機 種類	送風機 電圧	設置 場所	備考
PAC-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向	単相	0.028		8	○			1FL	○○工業
		冷房能力(kW)	200V							事務室1	FXABC36D
		暖房能力(kW)									
		ファン(kW)									
		風量(m ³ /min)									
		液管/ガス管(mm)									
		質量(kg)									

Memo

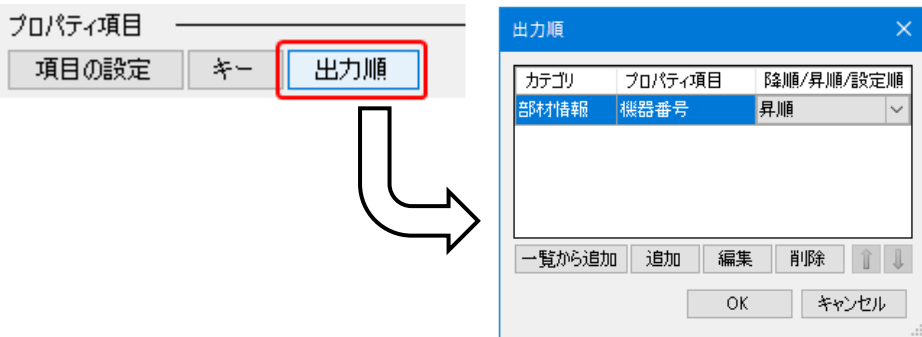
[Excelに保存]、[レプロに表を貼り付け]を行う際に、[保存対象]を「すべて」か「キーが一致する項目のみ」かを指定します。

「すべて」では、絞り込みをしたすべての要素を出力します。

「キーが一致する項目のみ」では、[Excelのセル位置指定]で指定したExcelファイルに記入されているキーの値が一致する要素のみ出力します。



「すべて」を選択した場合の出力順は、[Excelのセル位置指定]ダイアログの[出力順]でプロパティ項目を指定できます。



「昇順」「降順」のほか、フロアなど順番の設定をもつプロパティ項目の場合は「設定順」を選択できます。

複数のプロパティ項目を指定した場合、優先順位の高い順に指定されているとみなされます。

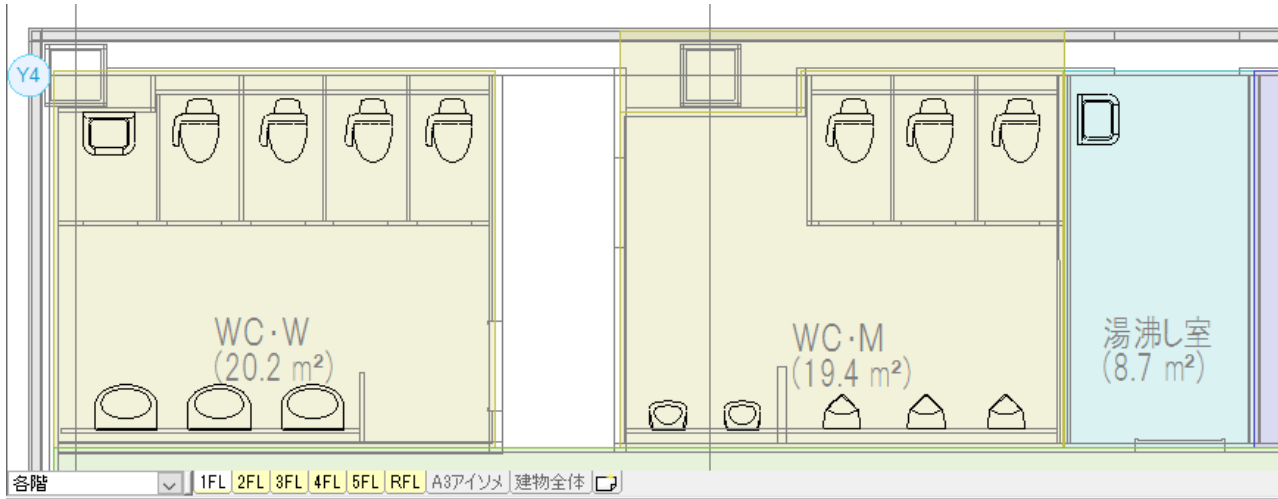
何も指定しない場合、キーに指定したプロパティ項目を基準に昇順で並べられます。

記号	名称	機器仕様	相電圧 (φ-V)	電力 (kW)	燃焼 方式	台数	操作方式 (※)	遠方制御 (※)	系統 電圧	設置 場所	備考
PAO-1	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 4方向 冷房能力(kW) 3.5 総冷能力(kW) 4 ファン(kW) 0.053×1 風量(m³/min) (高)12.5 (中)11.5 (弱)11.0	単相 200V	0.028		8	○			1FL 事務所1	○○工業 FXABC350
PAO-2	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 2方向 冷房能力(kW) 3.5 総冷能力(kW) 4 ファン(kW) 0.053×1 風量(m³/min) (高)14.5 (中)13 (弱)11 配管/ガス管(mm) φ8.4/φ12.7 質量(kg) 24.5	単相 200V	0.037		2	○			1FL 事務所2	○○工業 FXABC450
PAO-3	ビル用マルチ室内機	型式 天井カセット形 2方向 冷房能力(kW) 4.5 総冷能力(kW) 5 ファン(kW) 0.053×1 風量(m³/min) (高)14.5 (中)13 (弱)11 配管/ガス管(mm) φ8.4/φ12.7 質量(kg) 24.5	単相 200V	0.037		2	○			1FL 事務所3	○○工業 FXABC450

機器番号がキーのため、機器番号の数字順で出力されています。

3. 衛生器具表の出力

図面上にある衛生器具のフロア、部屋ごとの台数を衛生器具表のフォーマットが入ったExcelファイルまたはCSVファイルに出力します。部屋は、[ツール]タブ-[部屋]で範囲を指定して作図し、機器を部屋の中に配置しておきます



↓

A	B	C	D	E-Z															計	備考								
				1FL			2FL			3FL			4FL			5FL												
				W	C	湯沸し室	W	C	湯沸し室	W	C	湯沸し室	W	C	湯沸し室	W	C	湯沸し室										
8	器具名称	品番	付属品																									
9	パブリック用 壁掛小便器	TR460	D50A		3			3			3			3			3											15
10	パブリック用 壁掛便器	CER1100	FAS-153, BQ210, CS10	4	3			4	3			4	3			4	3			4	3							35
11	壁掛手洗器	REF450	K35D		2				2				2				2				2							10
12	壁掛洗面器	RES750	HF35		3				3				3				3				3							15
13	槽除流し	SK2	ER25	1		1		1		1		1		1		1		1		1		1						10

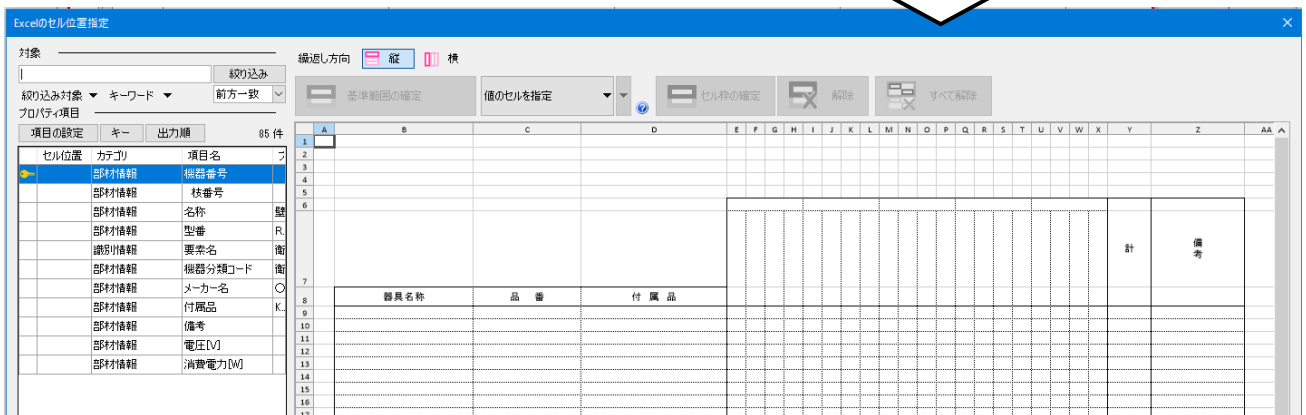
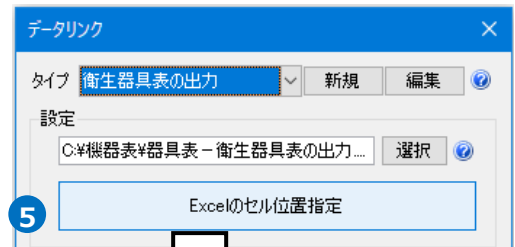
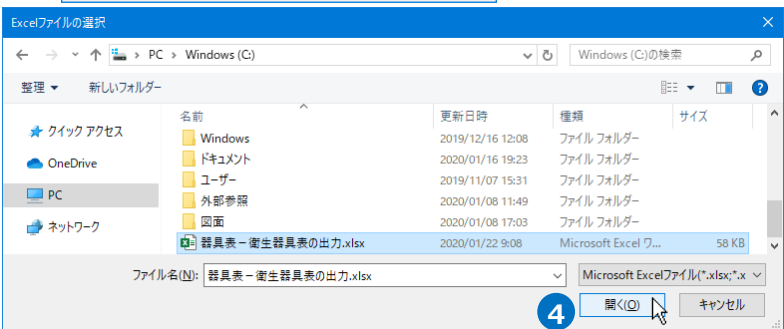
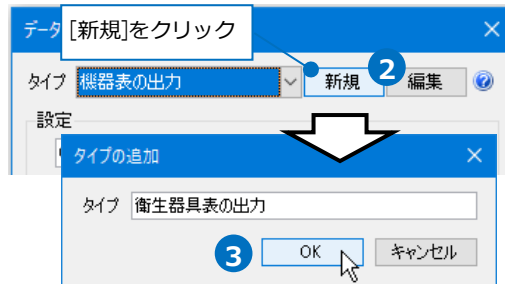
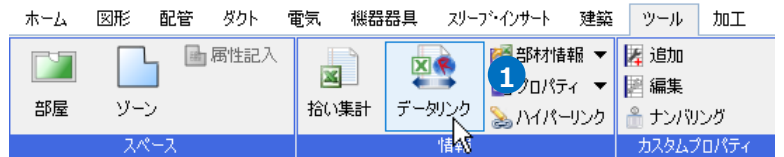
レプロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

衛生器具表を出力する図面「図面-衛生器具表の出力.reb」を開きます。

この図面には部屋名が設定されています。

対象の設定

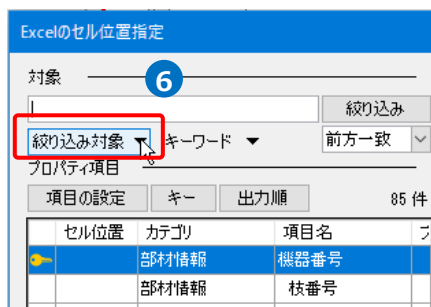
- ① [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。
- ② [データリンク]ダイアログが開きます。
タイプの[新規]をクリックします。
- ③ [タイプの追加]ダイアログが開きます。
タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。
- ④ [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。
データを出力するExcelファイル
「器具表-衛生器具表の出力.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。
- ⑤ [Excelのセル位置指定]をクリックします。
[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



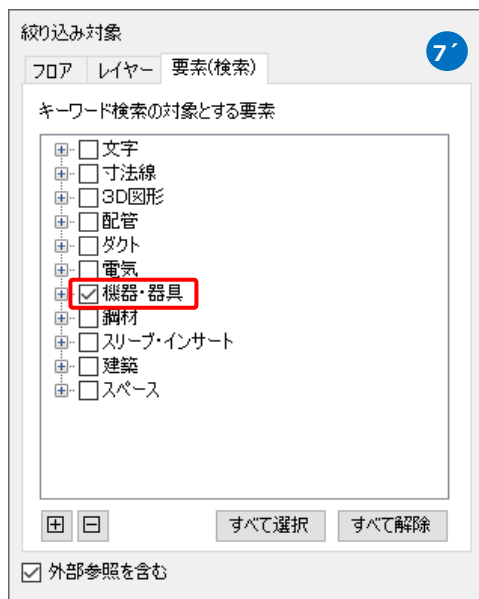
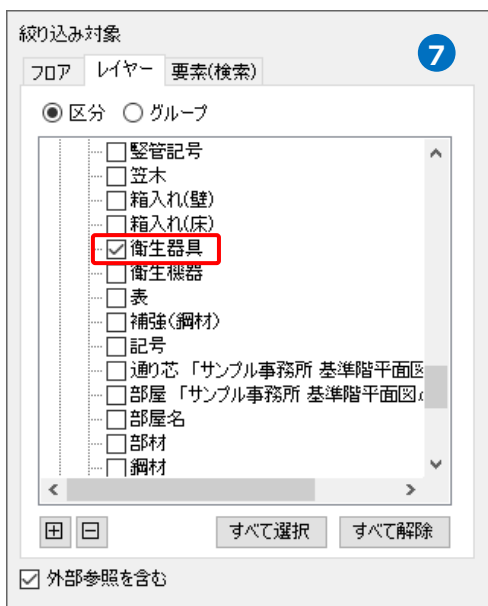
6 Excelに値を保存する対象要素を絞り込みます。

衛生器具のみ絞り込みます。

[絞り込み対象]をクリックします。



7 [絞り込み対象]から、[レイヤー]タブの[汎用]-[衛生器具]、[要素(検索)]タブの[機器・器具]にチェックを入れます。



8 [絞り込み]をクリックします。

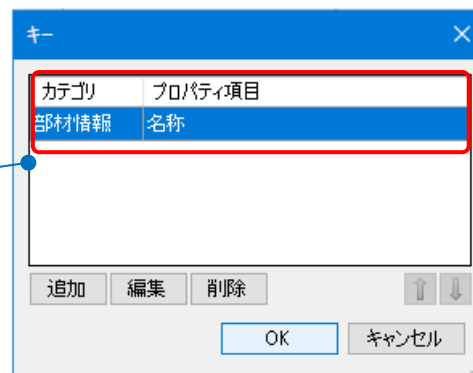
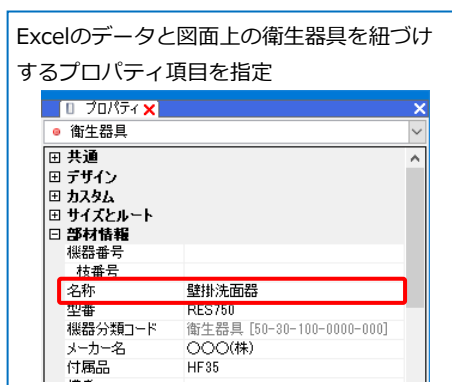
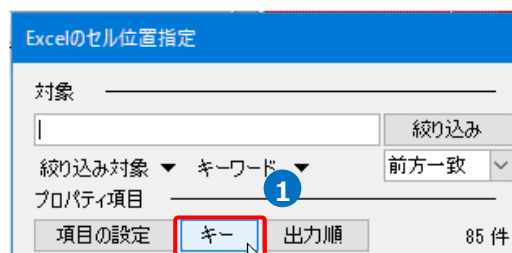
部材検索が実行され、絞り込み対象と一致した部材が検索結果に表示されます。

リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



キーの設定

- 1 [キー]をクリックします。
[キー]ダイアログの[編集]をクリックし、Excelファイルの内容とレプロの機器器具の情報を紐づけるプロパティ項目を選択します。
[カテゴリ]：部材情報
[プロパティ項目]：名称

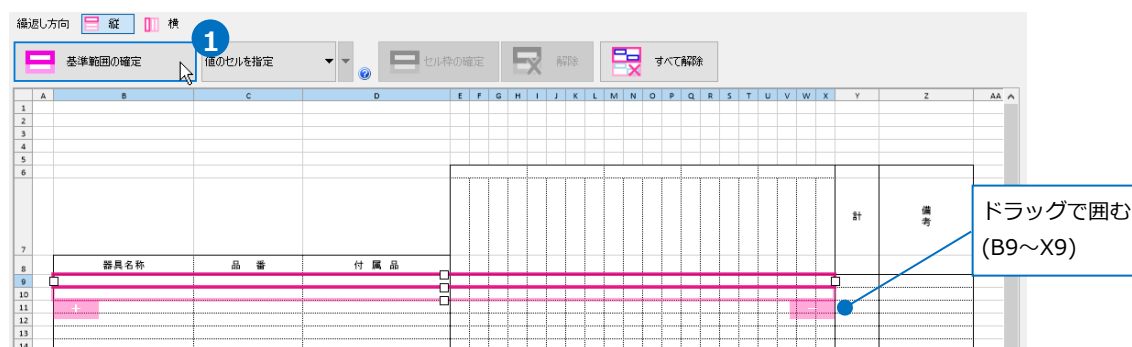


- 2 [OK]をクリックします。
選択したプロパティ項目に[🔑]のアイコンが表示されます。

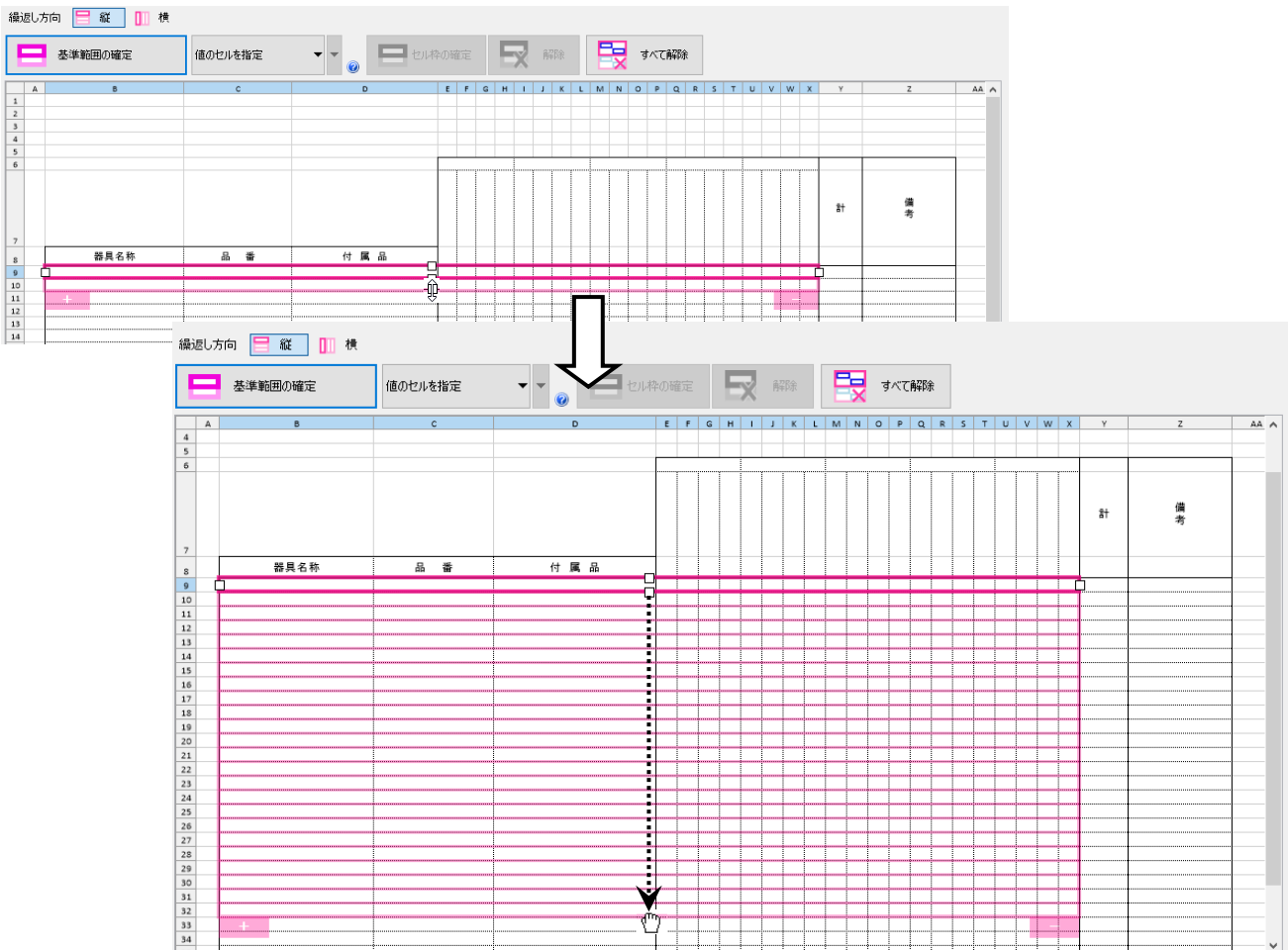
🔑	部材情報	名称	壁掛手洗器
---	------	----	-------

読み込む範囲の設定

- 1 [Excelのセル位置指定]ダイアログで1つ目の要素のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。



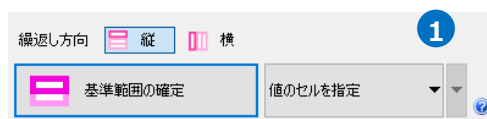
- 2 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。
ここで決められた範囲が、1シート分のデータ出力範囲です。



セルにプロパティ項目を割り当て

既存の項目を割り当て

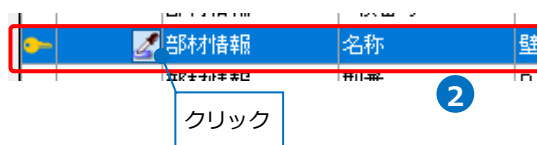
- 1 「値のセルを指定」を選択します。



- 2 [プロパティ項目]でレブロの要素と関連付けるプロパティの項目を指定します。

[カテゴリ]：部材情報

[項目名]：名称



[セル位置]のセルをクリックし、スポイトアイコンをクリックします。

- 3 項目を出力するセル(B9)をクリックします。

基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが水色枠で囲われます。

その他のセルも同様に指定します。

器具名称	品番	付属品
3-1	3-2	3-3

番号	カテゴリ	項目名
3-1	部材情報	名称
3-2	部材情報	型番
3-3	部材情報	付属品

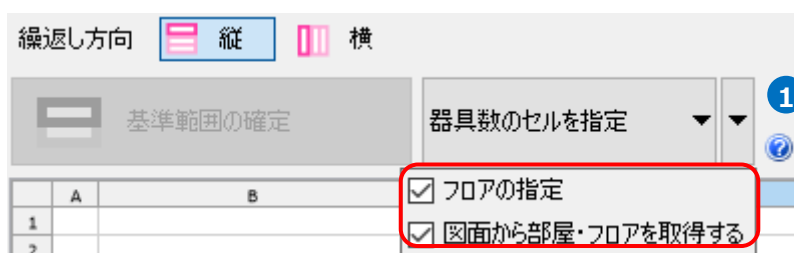
器具数のセルを指定

- 1 部屋ごとに台数を出力する場合、「器具数のセルを指定」で設定します。

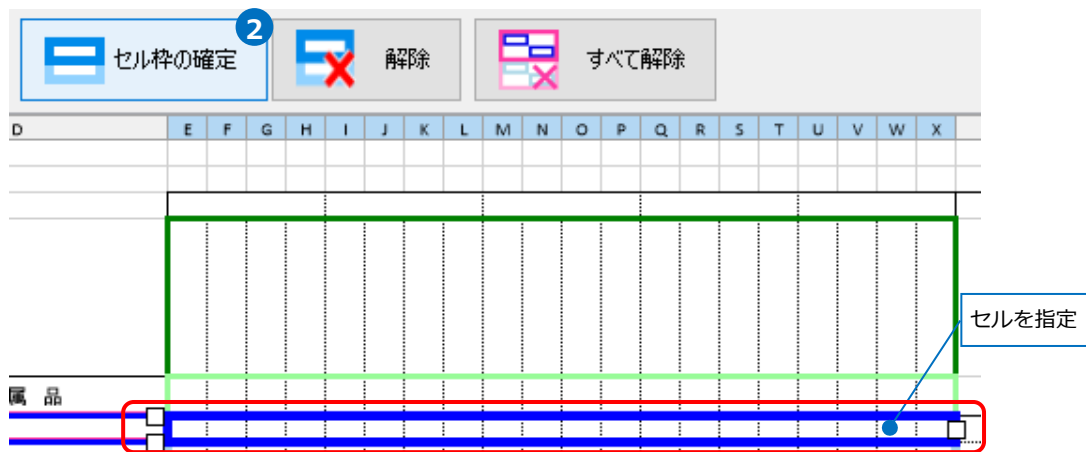
フロアごとの設定も追加したい場合、「器具数のセルを指定」横の[▼]をクリックし、[フロアの指定]のチェックを入れます。

[図面から部屋・フロアを取得する]にチェックを入れると、出力する要素の基準フロアからフロア名、図面上に作図した部屋要素から部屋名を取得し、指定したセルに出力します。

ここでは、両方チェックを入れます。



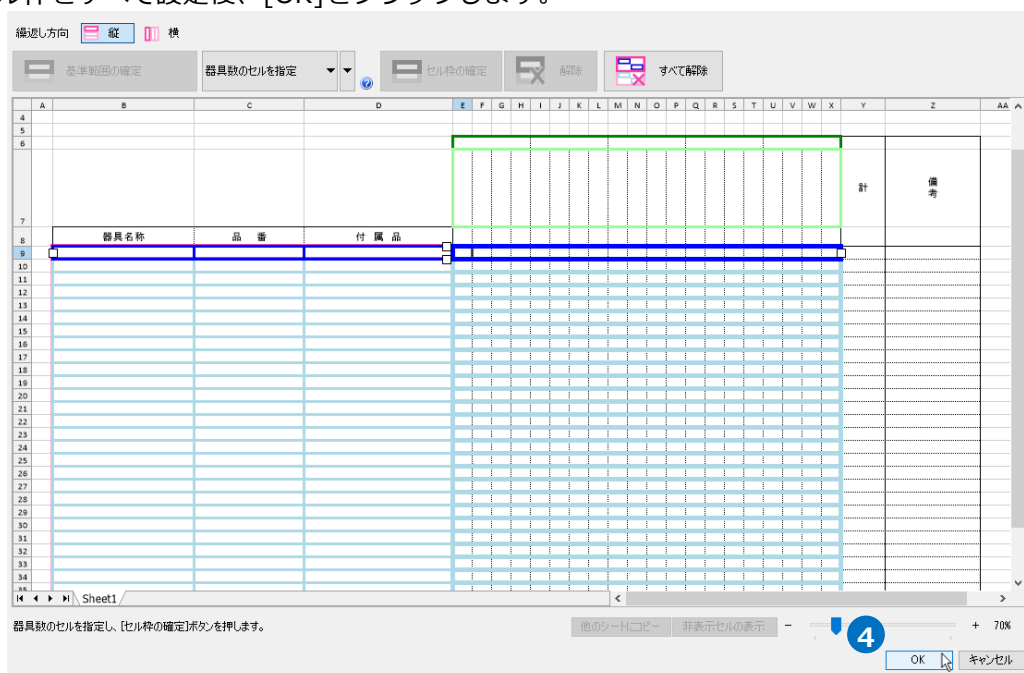
- ② セル(E9~X9)を指定し、[セル枠の確定]をクリックします。



- ③ 緑色の枠と黄緑色の枠が表示されます。緑色の枠でフロア、黄緑色の枠で部屋名を入力するセルを指定します。位置がずれている場合は、ドラッグで枠を移動します。

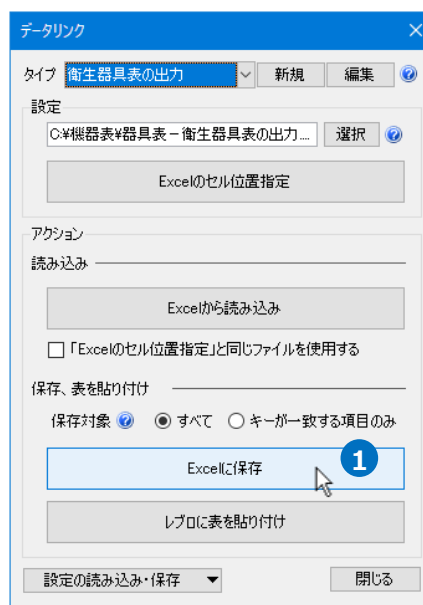


- ④ セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。



Excelに保存

1 [Excelに保存]をクリックします。



2 [名前を付けて保存]ダイアログが開きます。

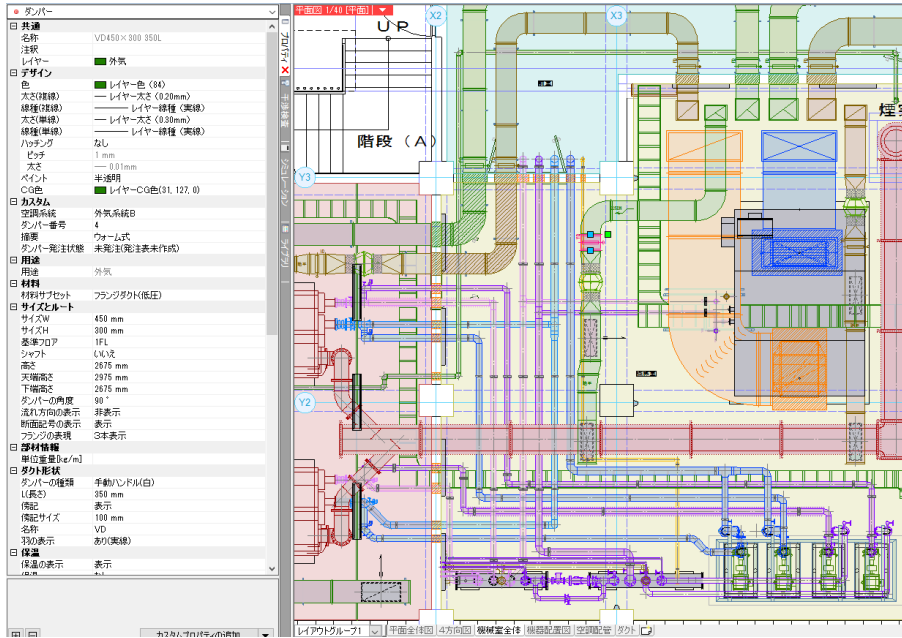
ファイル名を設定し、任意の場所に保存します。

3 図面上にある衛生器具のフロア、部屋ごとの台数がExcelに出力されます。

			1FL			2FL			3FL			4FL			5FL			計	備考
			W C W	W C M	湯 沸 し 室	W C W	W C M	湯 沸 し 室	W C W	W C M	湯 沸 し 室	W C W	W C M	湯 沸 し 室	W C W	W C M	湯 沸 し 室		
器具名称	品番	付属品																	
パブリック用 壁掛小便器	TR450	D60A		3			3			3			3				3	15	
パブリック用 壁掛便器	CER1100	FAS-153, EG210, GS10	4	3			4	3			4	3			4	3		35	
壁掛手洗器	REF450	K35D		2				2			2			2			2	10	
壁掛洗面器	RES750	HF35	3				3				3			3			3	15	
掃除流し	SK2	ER25	1	1			1	1			1	1		1	1		1	10	

4.ダンパー発注表の出力

図面上にあるダンパーの情報から、ダンパー発注表のフォーマットが入ったExcelファイルまたはCSVファイルに出力します。



NO	階	記号	空調機系統	設置場所	用途	型式	形状	摘要	種類	定格風量	W	φ	H	L	備考
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12	4	1FL	外気系統B	機械室	外気	VD450×300 350L	角型	ウォーム式	VD		450	300	350		
13	5	1FL	外気系統C	前室	外気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350		
14	6	1FL	外気系統C	前室	外気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350		
15	7	1FL	外気系統C	電気室	外気	VD600×450 350L	角型	ウォーム式	VD		600	450	350		
16	8	1FL	排気系統A	熱源機械室	排気	VD450×400 350L	角型	ウォーム式	VD		450	400	350		
17	9	1FL	排気系統A	前室	排気	FD450×400 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		450	400	350		
18	10	1FL	排気系統A	前室	排気	FD450×400 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		450	400	350		
19	11	1FL	排気系統B	機械室	排気	VD450×300 350L	角型	ウォーム式	VD		450	300	350		
20	12	1FL	排気系統C	前室	排気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350		
21	13	1FL	排気系統C	前室	排気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350		
22	14	1FL	排気系統C	電気室	排気	VD550×550 350L	角型	ウォーム式	VD		550	550	350		
23	15	B1FL	給気系統A	機械室	給気	VD1,600×600 350L	角型	ウォーム式	VD		1600	600	350		

レプロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

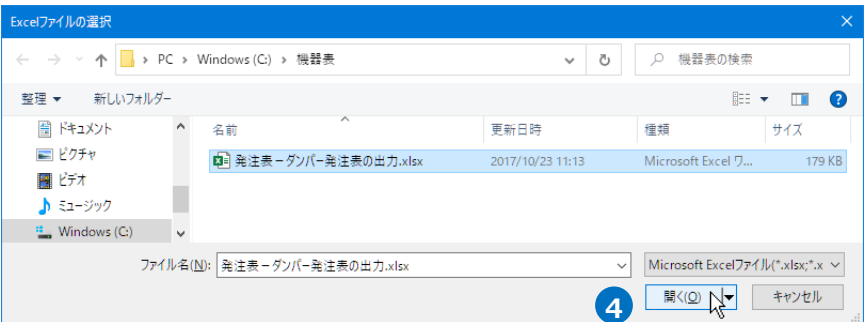
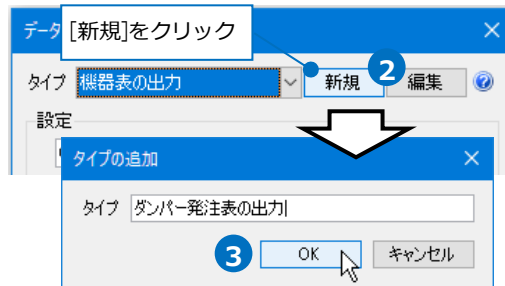
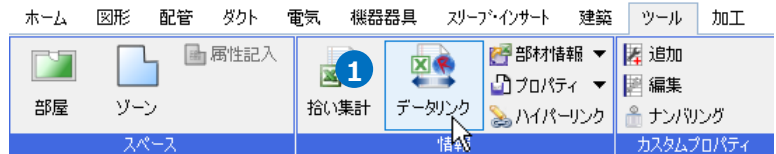
ダンパー発注表を出力する図面「図面-ダンパー発注表の出力(サンプル機械室).reb」を開きます。

この図面では、ダンパーの[カスタムプロパティ]に、[空調系統][ダンパー番号][摘要][ダンパー発注状態]の項目を付与しています。

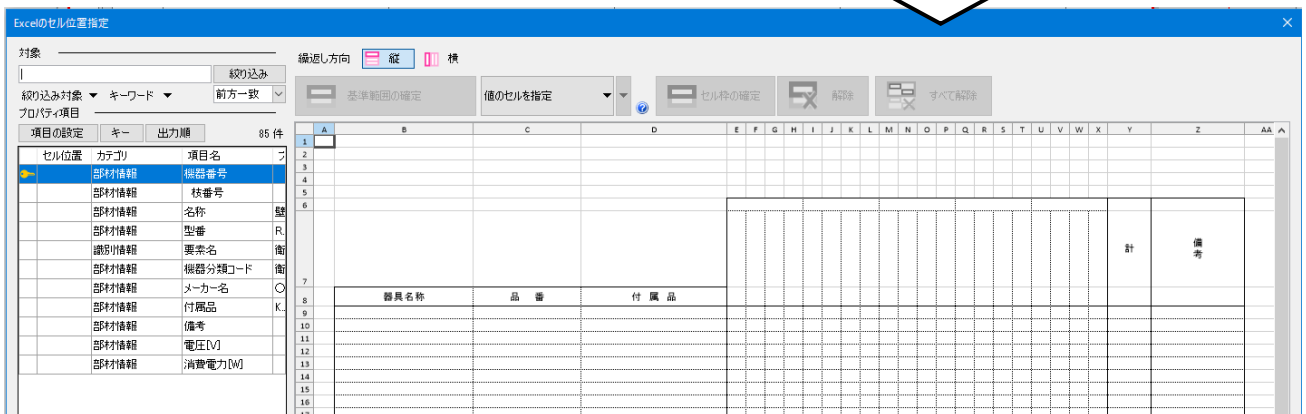
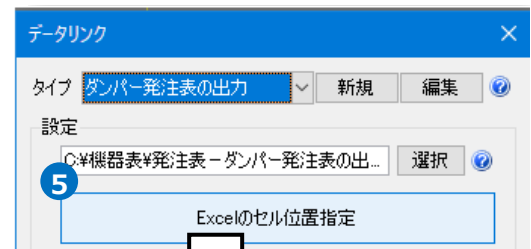
[ダンパー発注状態]が「未発注」のダンパー情報をExcelで出力します。

対象の設定

- ① [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。
- ② [データリンク]ダイアログが開きます。
タイプ[新規]をクリックします。
- ③ [タイプの追加]ダイアログが開きます。
タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。
- ④ [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。
データを出力するExcelファイル「発注表-ダンパー発注表の出力.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。



- ⑤ [Excelのセル位置指定]をクリックします。
[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。

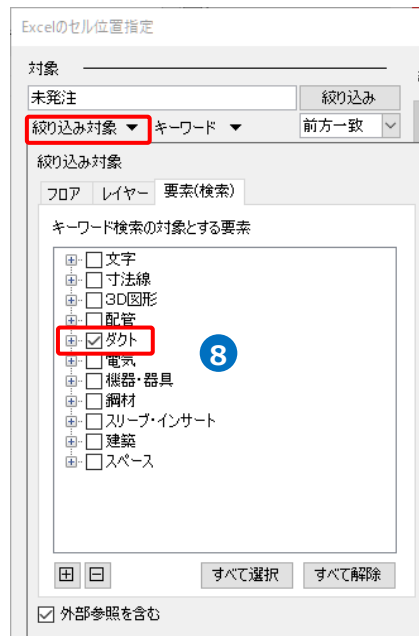


- 6 Excelに値を保存する対象要素を絞り込みます。
ここでは、[対象]の入力欄に「未発注」と入力します。

- 7 絞り込むキーワードを指定します。
[キーワード]タブをクリックし、
[カスタムプロパティ]にチェックを入れます。

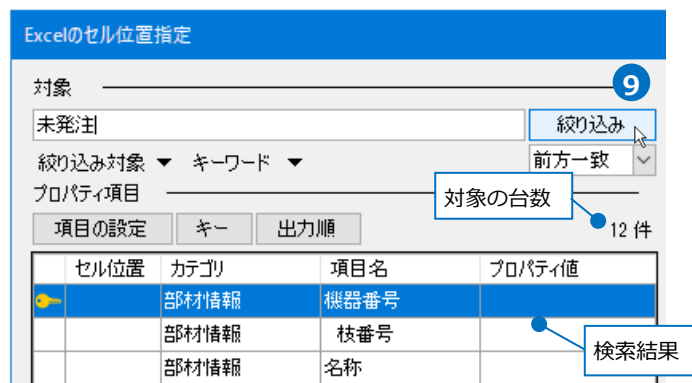


- 8 絞り込み対象をフロアやレイヤー、要素で指定します。
ここでは[要素(検索)]タブの[ダクト]にチェックを入れます。



- 9 [絞り込み]をクリックします。

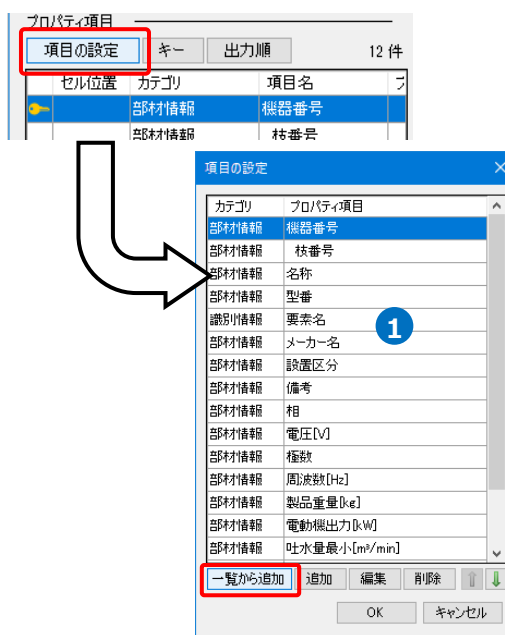
部材検索が実行され、検索キーワードと一致した部材が検索結果に表示されます。
リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



項目の追加

発注表に出力するプロパティ項目を追加します。

- 1 [プロパティ項目]の[項目の設定]をクリックし、[項目の設定]ダイアログの[一覧から追加]をクリックします。



- 2 [プロパティの選択]から以下の項目を選択します。

[共通]：名称

[カスタム]：空調系統

[カスタム]：ダンパー番号

[カスタム]：摘要

[用途]：用途

[サイズとルート]：サイズW

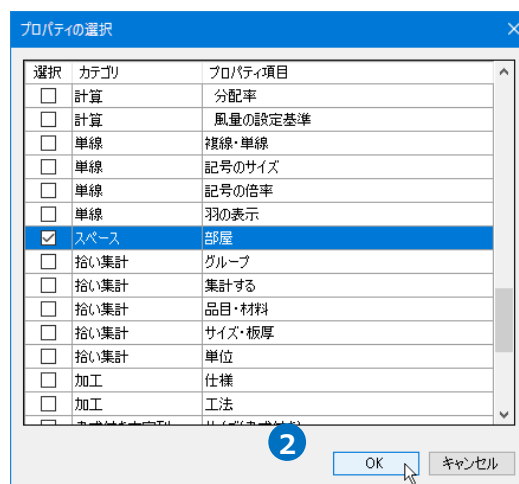
[サイズとルート]：サイズH

[サイズとルート]：基準フロア

[ダクト形状]：L(長さ)

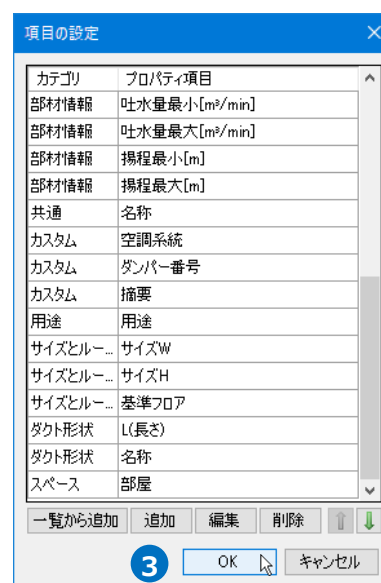
[ダクト形状]：名称

[スペース]：部屋



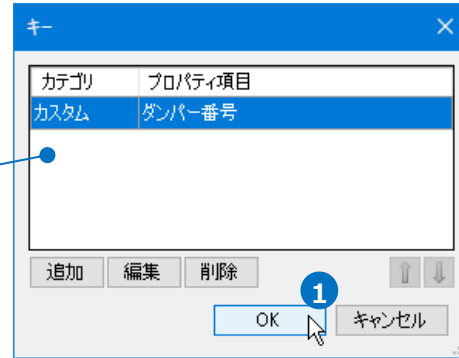
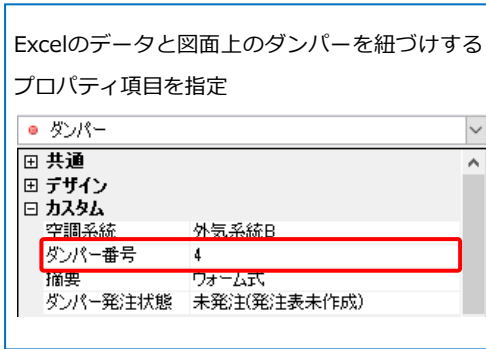
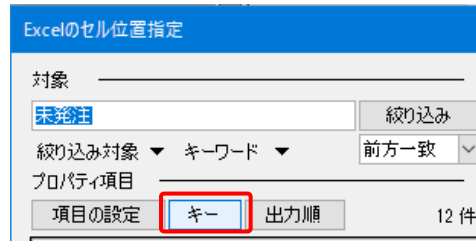
[OK]をクリックします。

- 3 [プロパティ項目]が追加されます。
[項目の設定]の[OK]をクリックします。

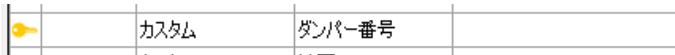


キーの設定

- [キー]をクリックします。
[キー]ダイアログの[編集]をクリックし、Excelファイルの内容とレボロの機器器具の情報を紐づけするプロパティ項目を選択します。
[カテゴリ]：カスタム
[プロパティ項目]：ダンパー番号

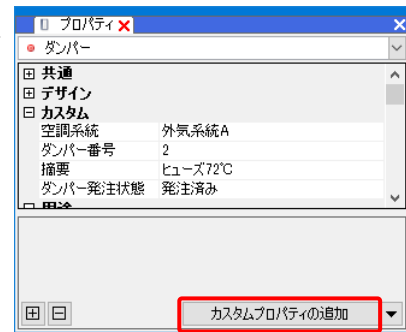
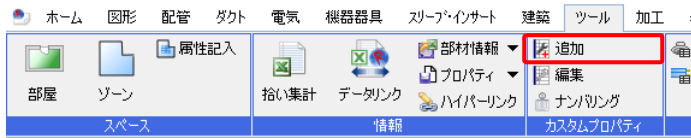


- [OK]をクリックします。選択したプロパティ項目に[🔑]のアイコンが表示されます。



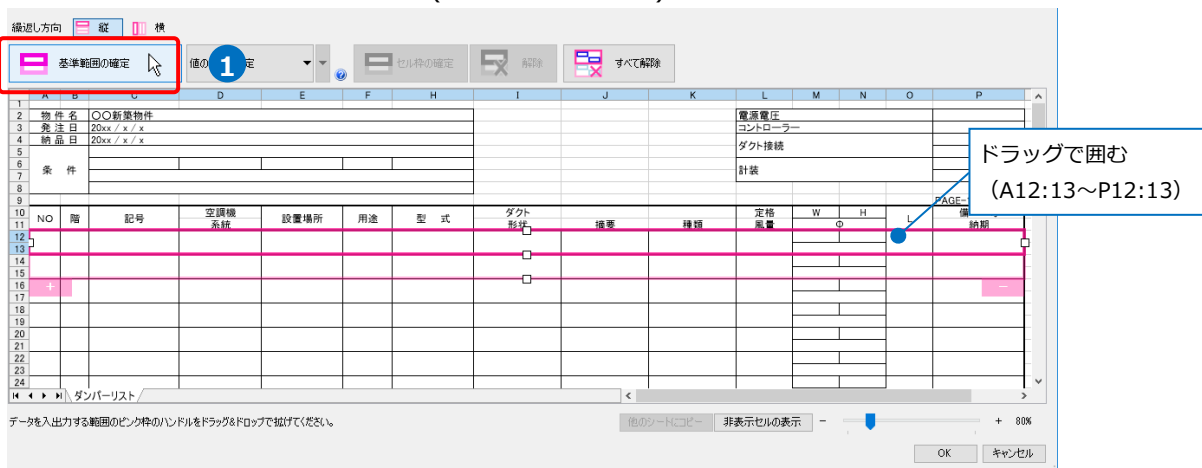
Memo

カスタムプロパティを設定すると、要素を持つプロパティとは別に、プロパティ項目を追加することができます。
[プロパティ]パネルの[カスタムプロパティの追加]と[ツール]タブ-[カスタムプロパティ]パネル-[追加]から追加ができます。

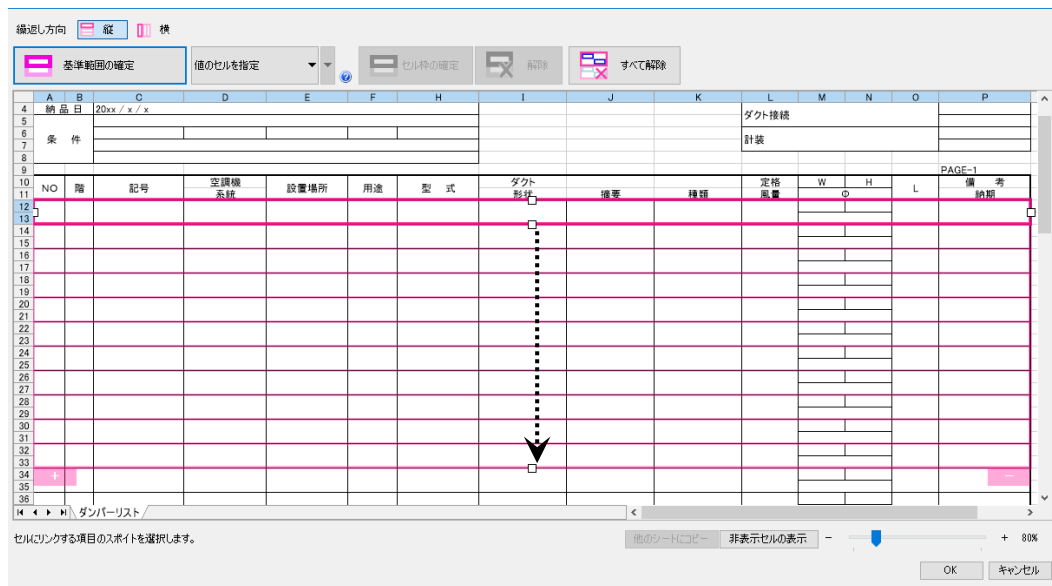
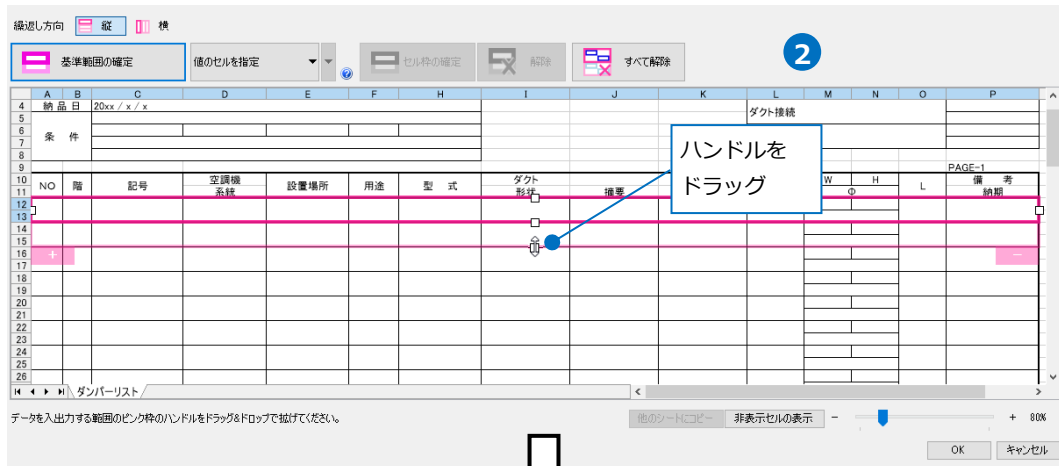


読み込む範囲の設定

- [Excelのセル位置指定]ダイアログで1つ目の要素のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。



- ② 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。
 ここで決められた範囲が、1シート分のデータ出力範囲です。

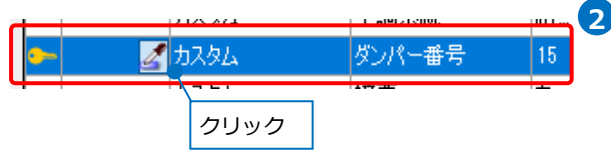


セルにプロパティ項目を割り当て

1 「値のセルを指定」を選択します。



2 [カテゴリ]、[項目名]でレブロの要素と関連付ける項目を指定します。
[カテゴリ]: カスタム
[項目名]: ダンパー番号



[セル位置]のセルをクリックし、
スポイトアイコンをクリックします。

3 項目を出力するセル(A12~13)を選択します。

基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが水色枠で囲われます。

その他のセルも同様に指定します。

番号	カテゴリ	項目名
3-1	カスタム	ダンパー番号
3-2	サイズとルート	基準フロア
3-3	カスタム	空調系統
3-4	スペース	部屋
3-5	用途	用途
3-6	共通	名称
3-7	カスタム	摘要
3-8	ダクト形状	名称
3-9	サイズとルート	サイズW
3-10	サイズとルート	サイズH
3-11	ダクト形状	L(長さ)

4 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。

繰返し方向 縦 横

標準範囲の確定 値のセルを指定 セル枠の確定 解除 すべて解除

NO	階	記号	空調機 系統	設置場所	用途	型 式	ダクト 形状	摘要	種類	定格 風量	W	H	L	備 考 納期
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														

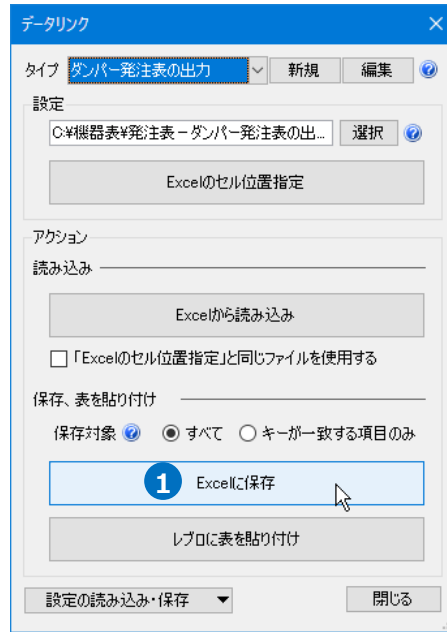
セルリンクする項目の入ポイントを選択します。

他のシートコピー 非表示セルの表示 - 80%

4 OK キャンセル

Excelに保存

1 [Excelに保存]をクリックします。



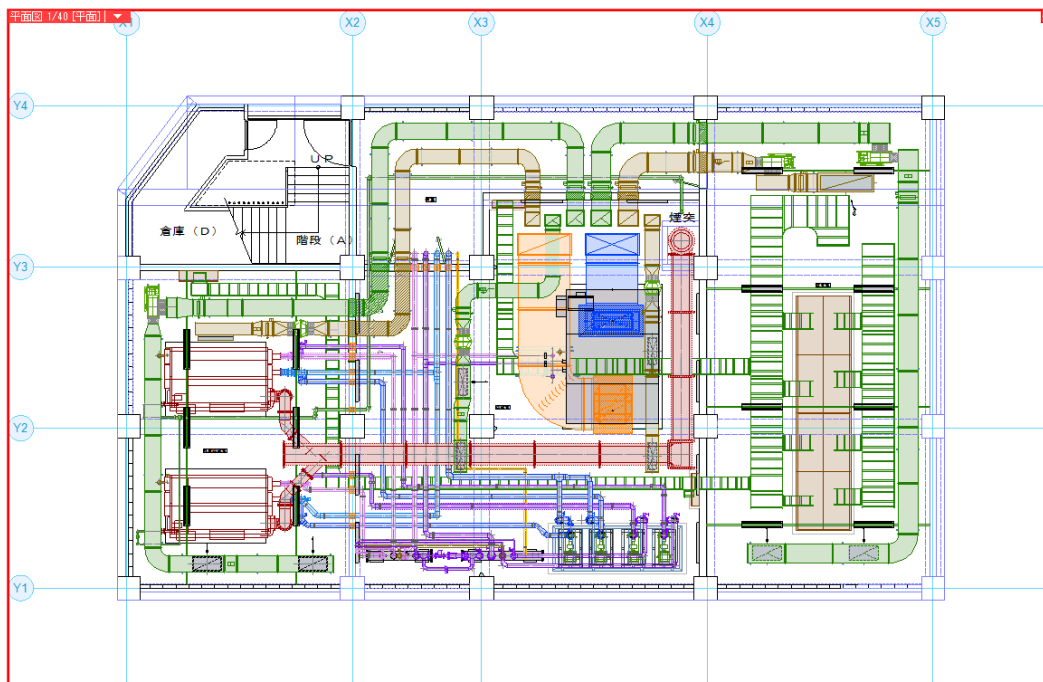
2 [名前を付けて保存]ダイアログが開きます。
ファイル名を設定し、任意の場所に保存します。

3 図面上にあるダンパーの情報を基に、ダンパー発注表がExcelに出力されます。

NO	階	記号	空調機 系統	設置場所	用途	型 式	ダクト 形状	摘要	種類	定格 風量	W	H	L	備 考
4	1FL		外気系統B	機械室	外気	VD450×300 350L	角型	ウォーム式	VD		450	300	350	
5	1FL		外気系統C	前室	外気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350	
6	1FL		外気系統C	前室	外気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350	
7	1FL		外気系統C	電気室	外気	VD600×450 350L	角型	ウォーム式	VD		600	450	350	
8	1FL		排気系統A	熱源機械室	排気	VD450×400 350L	角型	ウォーム式	VD		450	400	350	
9	1FL		排気系統A	前室	排気	FD450×400 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		450	400	350	
10	1FL		排気系統A	前室	排気	FD450×400 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		450	400	350	
11	1FL		排気系統B	機械室	排気	VD450×300 350L	角型	ウォーム式	VD		450	300	350	
12	1FL		排気系統C	前室	排気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350	
13	1FL		排気系統C	前室	排気	FD600×450 350L	角型	ヒューズ72℃	FD		600	450	350	
14	1FL		排気系統C	電気室	排気	VD550×550 350L	角型	ウォーム式	VD		550	550	350	
15	B1FL		給気系統A	機械室	給気	VD1,600×600 350L	角型	ウォーム式	VD		1600	600	350	

5.弁リストの出力

図面上にある弁の情報から、弁リストのフォーマットが入ったExcelファイルまたはCSVファイルに出力します。



	B	C	D	E	F	G
1	○○物件					
2						
3	系統	用途	種類	名称	サイズ	個数
4	冷温水1次	冷温水(往)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	4
5	冷温水1次	冷温水(還)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	8
6	冷温水1次	冷温水(還)	CV	スモレンスキチャッキバルブ SM10型式	100	2
7	冷温水2次	バイパス管	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	80	1
8	冷温水2次	バイパス管	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	4
9	冷温水2次	バイパス管	MV	冷温水・蒸気用複座二方弁	50	1
10	冷温水2次	冷温水(往)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	125	1
11	冷温水2次	冷温水(往)	GV	青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS5K	50	2
12	冷温水2次	冷温水(還)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	125	1
13	冷温水2次	冷温水(還)	GV	青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS5K	50	2
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						

レプロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

弁リストを出力する図面「図面-弁リストの出力(サンプル機械室).reb」を開きます。
この図面では、弁の[カスタムプロパティ]に、[空調配管系統]の項目を付与しています。

対象の設定

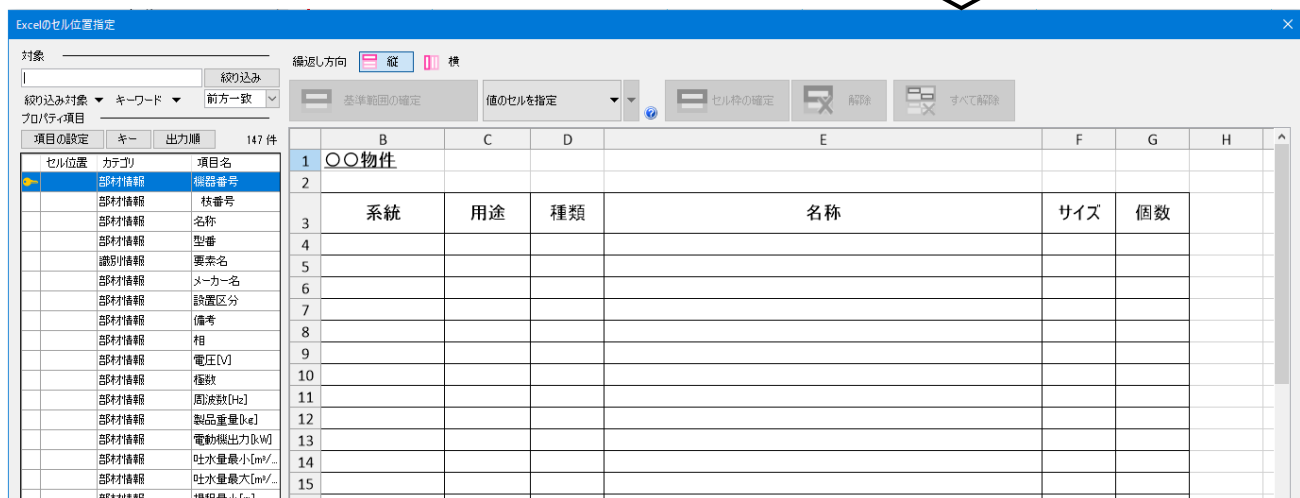
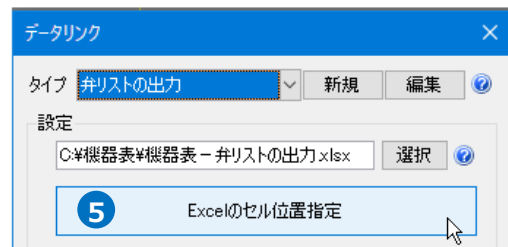
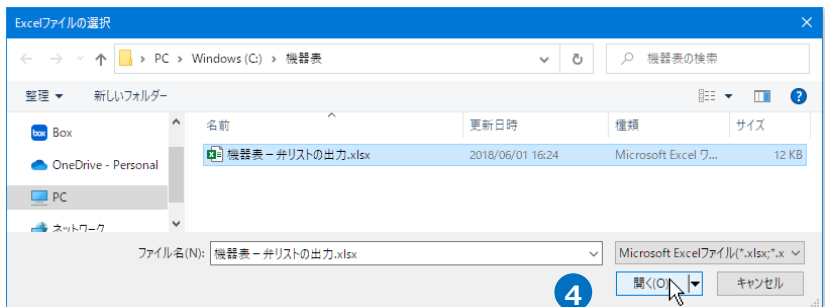
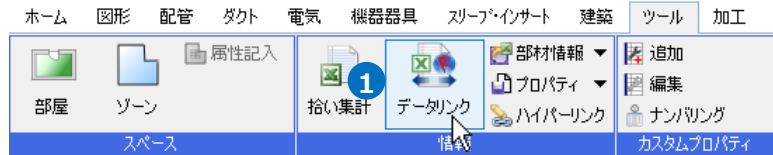
① [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。

② [データリンク]ダイアログが開きます。
タイプの[新規]をクリックします。

③ [タイプの追加]ダイアログが開きます。
タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。

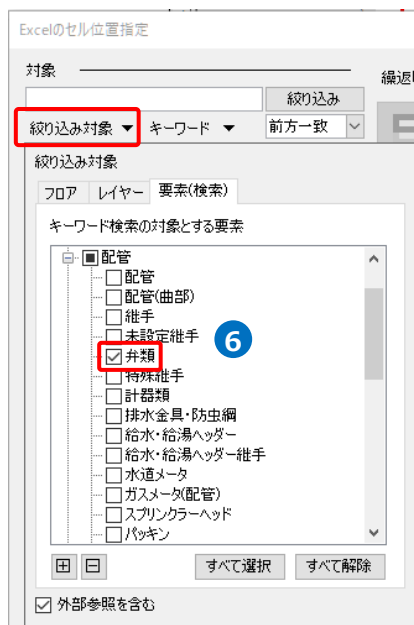
④ [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。
データを出力するExcelファイル
「機器表-弁リストの出力.xlsx」
を選択し、[開く]をクリックします。

⑤ [Excelのセル位置指定]をクリックします。
[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



- 6 Excelに値を保存する対象要素を絞り込みます。

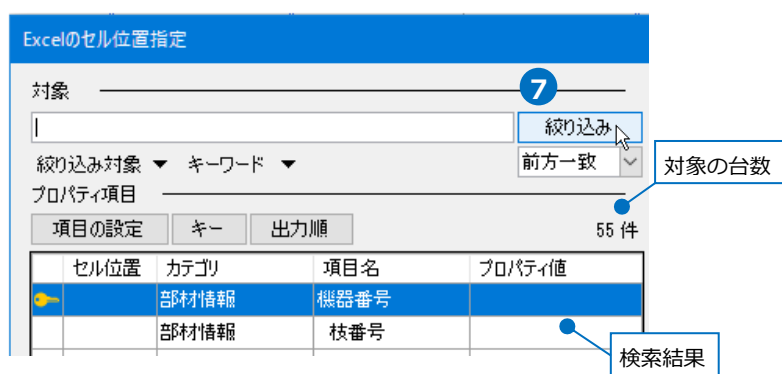
[絞り込み対象]から、[要素(検索)]タブの[配管]-[弁類]にチェックを入れます。



- 7 [絞り込み]をクリックします。

部材検索が実行され、絞り込まれた部材が検索結果に表示されます。

リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。



項目の追加

弁リストに出力するプロパティ項目を追加します。

- 1 [プロパティ項目]の[項目の設定]をクリックし、[項目の設定]ダイアログの[一覧から追加]をクリックします。



2 [プロパティの選択]から以下の項目を選択します。

[カスタム]：空調配管系統

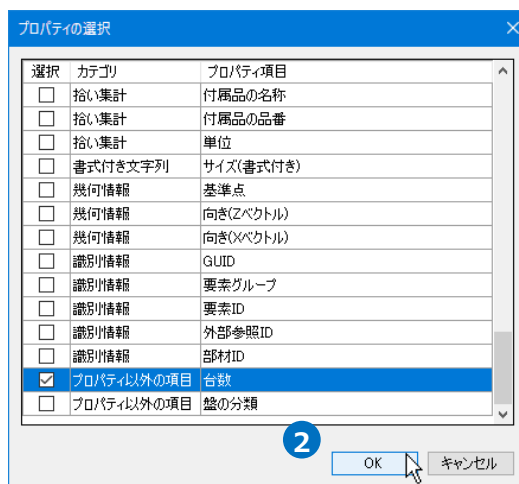
[用途]：用途

[サイズとルート]：サイズ

[部材情報]：略号

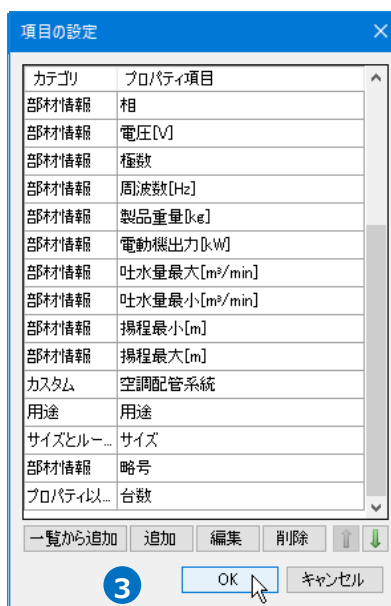
[プロパティ以外の項目]：台数

[OK]をクリックします。



3 [プロパティ項目]が追加されます。

[項目の設定]の[OK]をクリックします。



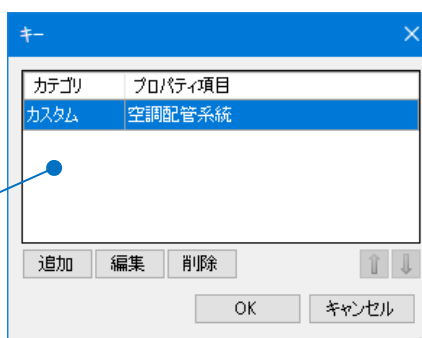
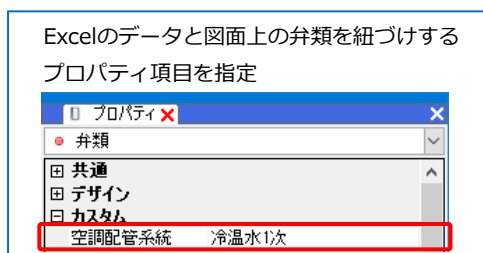
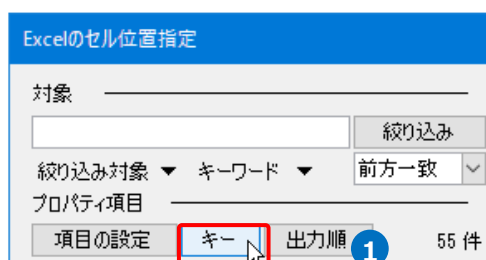
キーの設定

1 [キー]をクリックします。

[キー]ダイアログの[編集]をクリックし、Excelファイルの内容とレプロの機器器具の情報を紐づけるプロパティ項目を選択します。

[カテゴリ]：カスタム

[プロパティ項目]：空調配管系統



- 2 キーが1つだけではレプロの要素とExcelの項目を紐づけることができない場合、キーを複数設定します。優先順位の高い順に指定します。

[追加] をクリックします。

下記3つを追加します。

[カテゴリ]: 用途

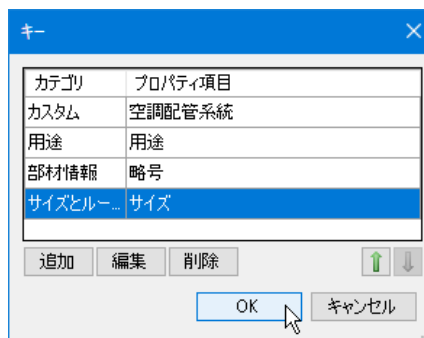
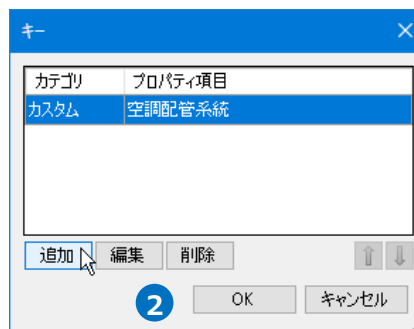
[プロパティ項目]: 用途

[カテゴリ]: 部材情報

[プロパティ項目]: 略号

[カテゴリ]: サイズとルート

[プロパティ項目]: サイズ



- 3 [OK] をクリックします。

選択したプロパティ項目に[🔑]のアイコンが表示されます。

🔑	カスタム	空調配管系統	
🔑	用途	用途	冷却水(往)
🔑	サイズとルート	サイズ	125A
🔑	部材情報	略号	CV

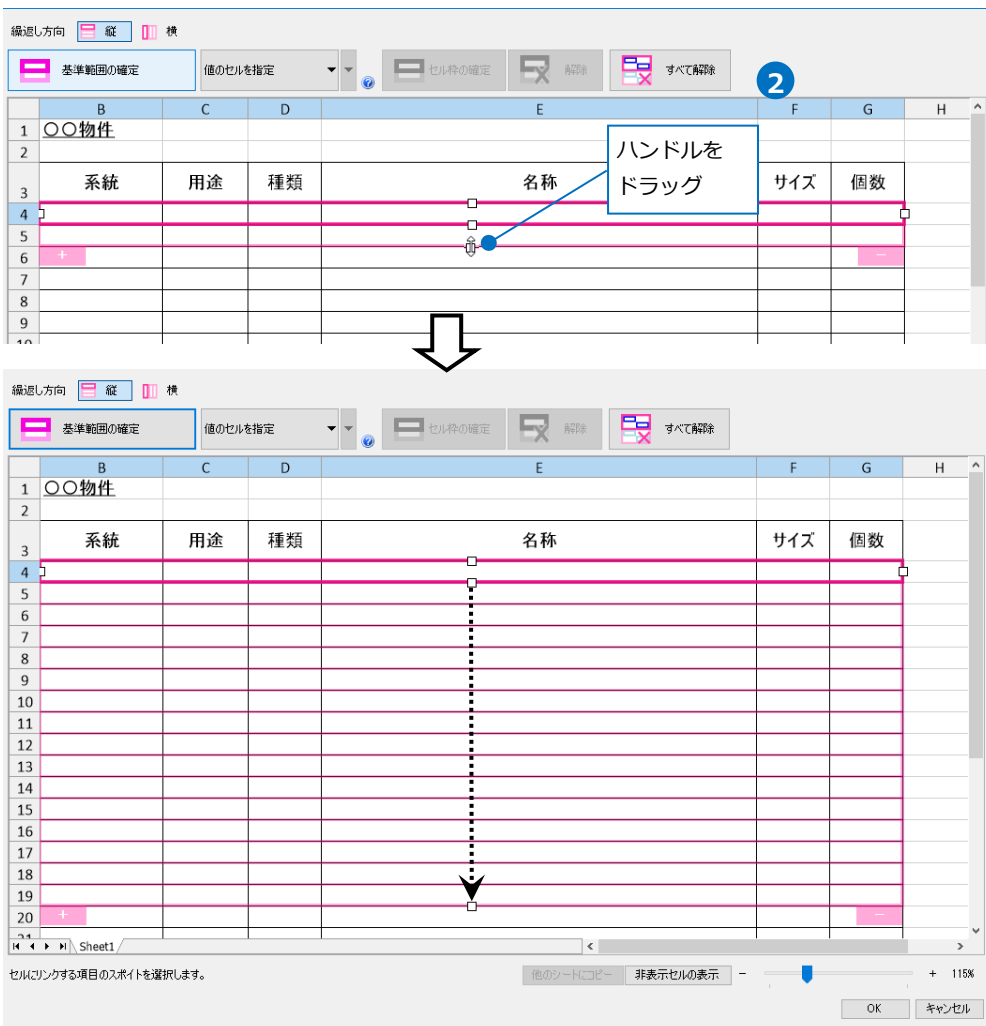
読み込む範囲の設定

- 1 [Excelのセル位置指定]ダイアログで1つ目の要素のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。

基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。



- 2 薄いピンク色の枠上のハンドルをドラッグし、データが繰り返す範囲(薄いピンク色の枠)を指定します。ここで決められた範囲が、1シート分のデータ出力範囲です。



セルにプロパティ項目を割り当て

- 1 「値のセルを指定」を選択します。



- 2 [カテゴリ]、[項目名]でレブロの要素と関連付ける項目を指定します。
[カテゴリ]: カスタム
[項目名]: 空調配管系統



[セル位置]のセルをクリックし、スポイトアイコンをクリックします。

- 3 項目を出力するセル(B4)を選択します。

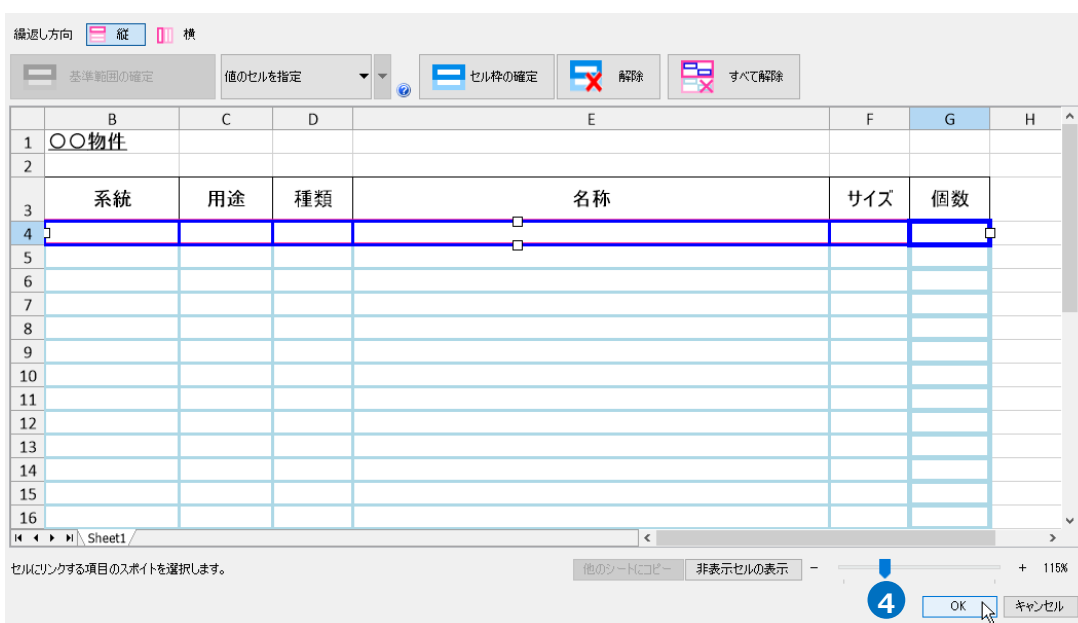
基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われ、相対位置が同じピンク色枠内のセルが水色枠で囲われます。その他のセルも同様に指定します。

系統	用途	種類	名称	サイズ	個数
3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6

その他のセルも同様に指定します。

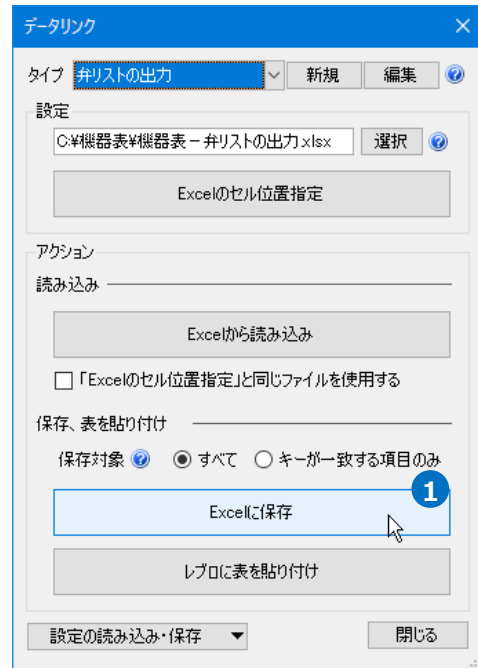
番号	カテゴリ	項目名
3-1	カスタム	空調配管系統
3-2	用途	用途
3-3	部材情報	略号
3-4	部材情報	名称
3-5	サイズとルート	サイズ
3-6	プロパティ以外の項目	台数

- 4 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。



Excel に保存

- 1 [Excelに保存]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]ダイアログが開きます。
ファイル名を設定し、任意の場所に保存します。



- 3 図面上にある弁類の情報を基に、弁リストが Excel 出力されます。

	B	C	D	E	F	G
1	○○物件					
2						
3	系統	用途	種類	名称	サイズ	個数
4	冷温水1次	冷温水(往)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	4
5	冷温水1次	冷温水(還)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	8
6	冷温水1次	冷温水(還)	CV	スモレンスキチャッキバルブ SMI0型式	100	2
7	冷温水2次	バイパス管	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	80	1
8	冷温水2次	バイパス管	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	100	4
9	冷温水2次	バイパス管	MV	冷温水・蒸気用複座二方弁	50	1
10	冷温水2次	冷温水(往)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	125	1
11	冷温水2次	冷温水(往)	GV	青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS5K	50	2
12	冷温水2次	冷温水(還)	BV	アルミ製バタフライ弁ウエハ形(ロングネック)10Kギア操作式	125	1
13	冷温水2次	冷温水(還)	GV	青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS5K	50	2
14						
15						